

# 第12回 団地の生活と住まいのアン ケート 2020年

パークタウン東綾瀬

調査期間期間:2020年9月1日～2020年9月20日

調査対象:全戸(950世帯)

アンケート回収数=355世帯

集計者:パークタウン東綾瀬自治会

# 目次

- 単純集計 ..... 3
- 年令別集計 ..... 12
- 2019年世帯総年収別計 ..... 24

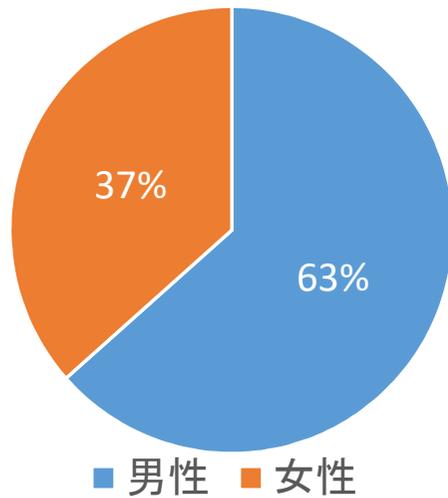
# 単純集計

- 各質問の回答の単純な合計数

問1-1.世帯主の性別

	度数	比率
男性	217	63%
女性	125	37%
総計	342	100%

問1-1.性別 (n=342)

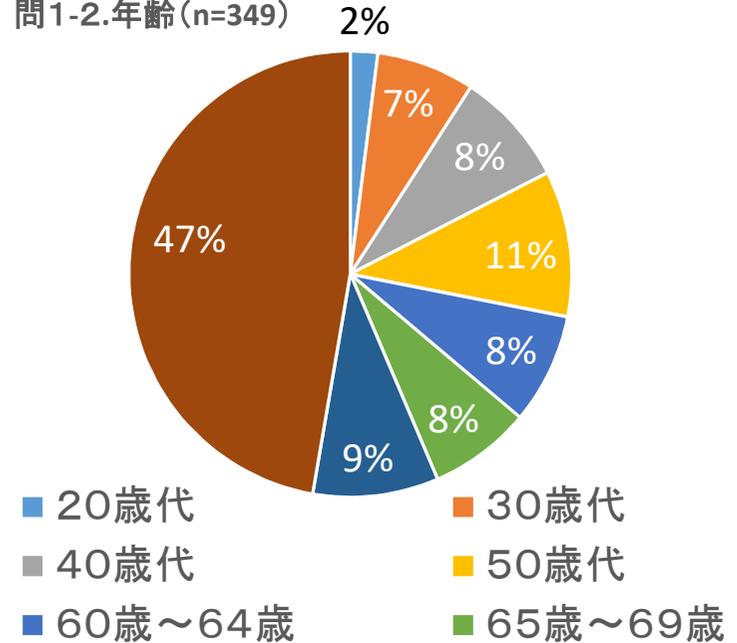


世帯主は男性が63%

問1-2.年齢

	度数	比率
20歳代	7	2%
30歳代	25	7%
40歳代	29	8%
50歳代	37	11%
60歳～64歳	28	8%
65歳～69歳	26	7%
70歳～74歳	32	9%
75歳以上	165	47%
総計	349	100%

問1-2.年齢 (n=349)

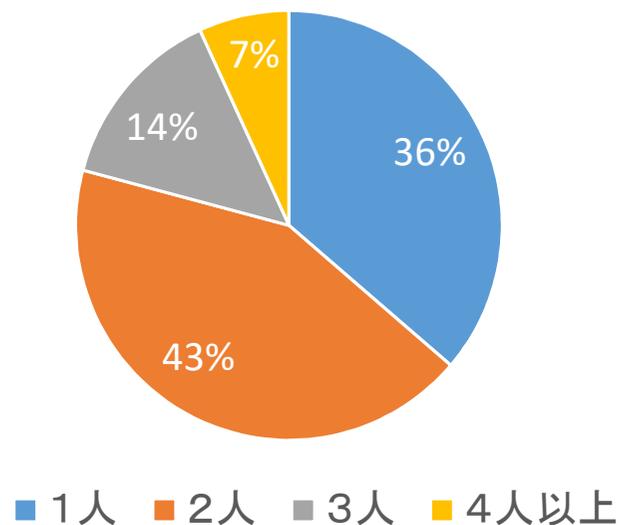


75歳以上が半数近い47%を占め、団地全体の高齢化が進んでいる

問2.同居家族の人数

	度数	比率
1人	127	36%
2人	150	43%
3人	49	14%
4人以上	24	7%
総計	350	100%

問2.同居家族の人数 (n=350)

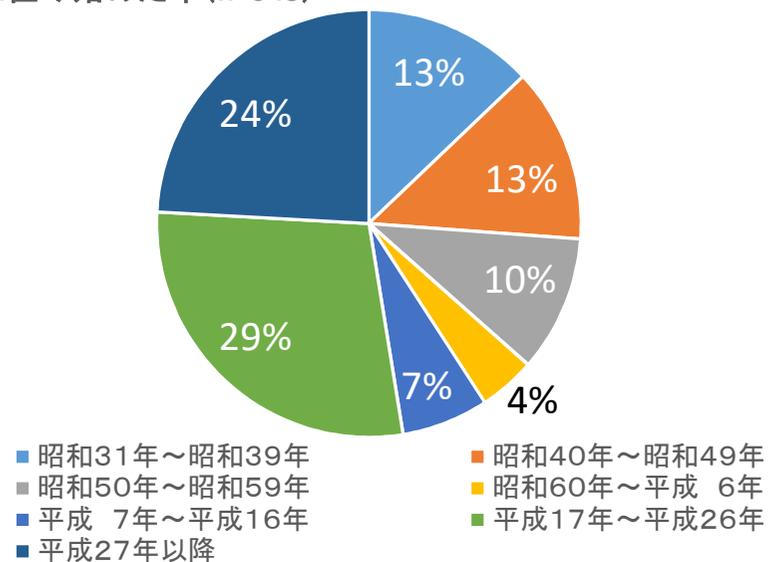


2人世帯が43%でもっとも多く、次いで1人世帯が43%となっている

問3.住み始めた年

	度数	比率
昭和31年～昭和39年	45	13%
昭和40年～昭和49年	46	13%
昭和50年～昭和59年	36	10%
昭和60年～平成 6年	15	4%
平成 7年～平成16年	23	7%
平成17年～平成26年	99	28%
平成27年以降	84	24%
総計	348	100%

問3.住み始めた年 (n=348)

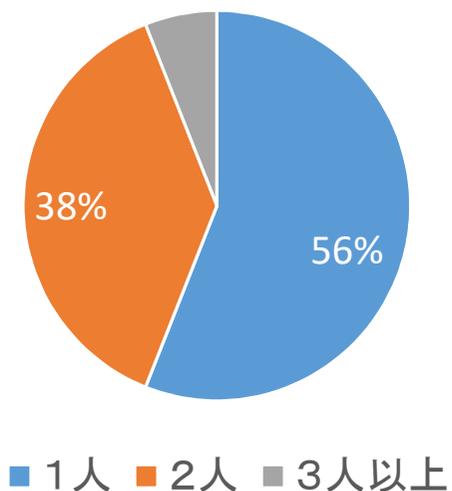


「平成17年～平成26年」に入居した世帯が29%でもっとも多く、次いで「平成27年以降」入居世帯が24%となっている

問4.世帯で収入を得ている人数

	度数	比率
1人	196	56%
2人	133	38%
3人以上	21	6%
総計	350	100%

問4.世帯で収入を得ている人数(n=350)

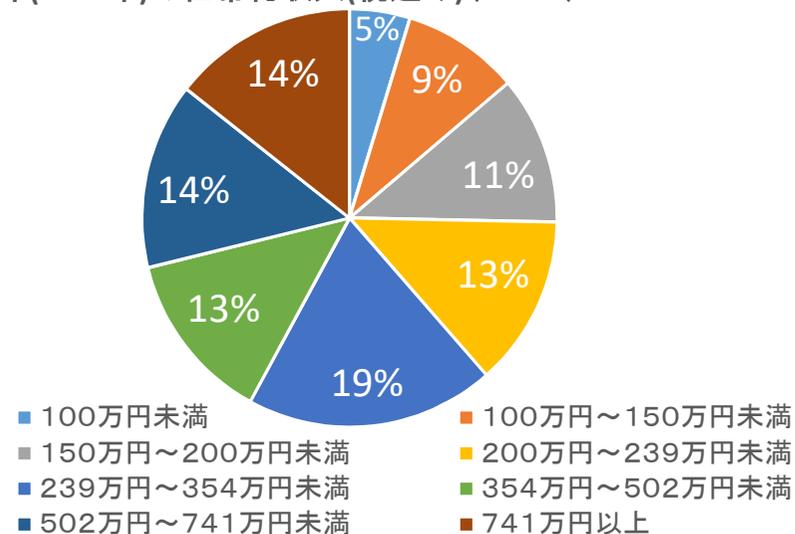


世帯で1人だけが収入を得ている世帯が56%でもっとも多く、次いで収入を得ている人が2人の世帯が38%となっている

問5.昨年(2019年)の世帯総収入(税込み)

	度数	比率
100万円未満	16	5%
100万円～150万円未満	31	9%
150万円～200万円未満	39	11%
200万円～239万円未満	45	13%
239万円～354万円未満	66	19%
354万円～502万円未満	45	13%
502万円～741万円未満	49	14%
741万円以上	49	14%
総計	340	100%

問5.昨年(2019年)の世帯総収入(税込み)(n=340)

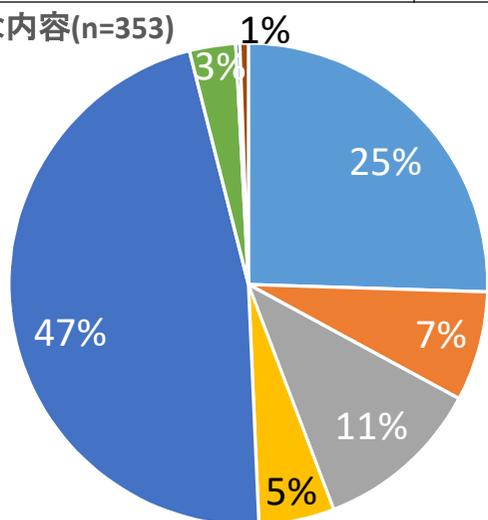


「239万円～354万円未満」の世帯が19%でもっとも多く、次いで「502万円～741万円未満」と「741万円以上」が14%となっている

問6.世帯収入の主な内容

	度数	比率
給料だけ	90	25%
給料とパート・アルバイト収入	26	7%
給料と年金	40	11%
年金とパート・アルバイト収入	18	5%
年金だけ	165	47%
自営業収入	11	3%
無収入	1	0%
その他	2	1%
総計	353	100%

問6.世帯収入の主な内容(n=353)



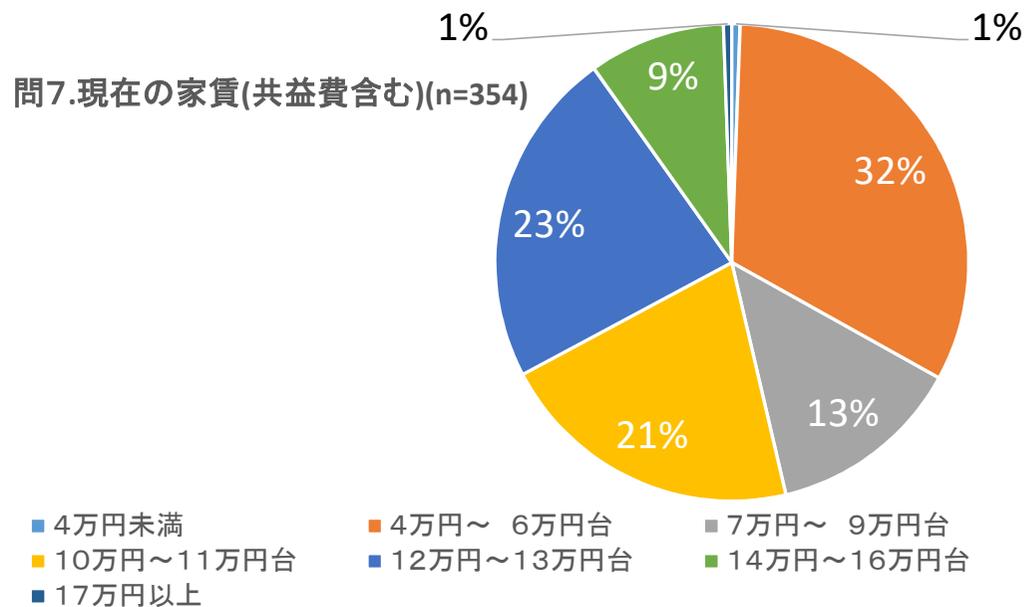
- 給料だけ
- 年金とパート・アルバイト収入
- 無収入
- 給料とパート・アルバイト収入
- 年金だけ
- その他
- 給料と年金
- 自営業収入

世帯収入が「年金だけ」の世帯が47%でもっとも多く、次いで「給料だけ」の世帯の25%となっている

問7.現在の家賃(共益費含む)

	度数	比率
4万円未満	2	1%
4万円～ 6万円台	115	32%
7万円～ 9万円台	47	13%
10万円～11万円台	74	21%
12万円～13万円台	81	23%
14万円～16万円台	33	9%
17万円以上	2	1%
総計	354	100%

問7.現在の家賃(共益費含む)(n=354)



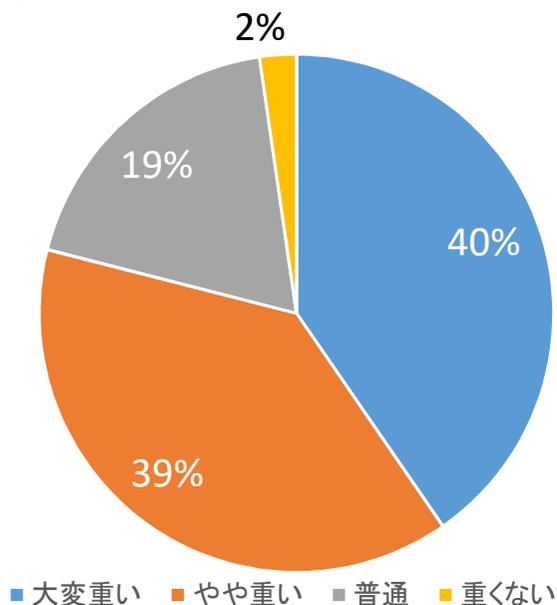
- 4万円未満
- 4万円～6万円台
- 10万円～11万円台
- 12万円～13万円台
- 17万円以上
- 7万円～9万円台
- 14万円～16万円台

家賃は「4万円～6万円台」の世帯が32%でもっとも多く、次いで「12万円～13万円台」の世帯が23%となっている

問8.家賃負担についてどのように感じていますか？

	度数	比率
大変重い	140	40%
やや重い	134	39%
普通	65	19%
重くない	8	2%
総計	347	100%

問8.家賃負担についてどのように感じていますか？(n=347)

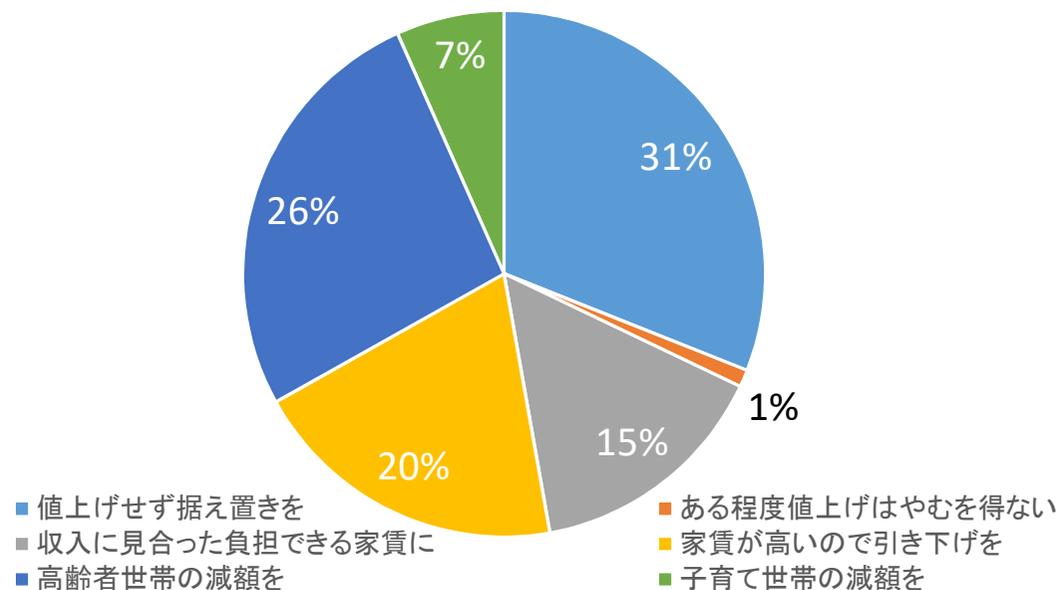


家賃負担が「大変重い」という回答が40%でもっとも多く、次いで「やや重い」が39%となっている

問9.家賃についてどう思いますか？(〇はいくつでも可)

	度数	比率
値上げせず据え置きを	176	31%
ある程度値上げはやむを得ない	6	1%
収入に見合った負担できる家賃に	86	15%
家賃が高いので引き下げを	112	20%
高齢者世帯の減額を	150	26%
子育て世帯の減額を	38	7%
総計	568	100%

問9.家賃についてどう思いますか？(〇はいくつでも可)(n=568)

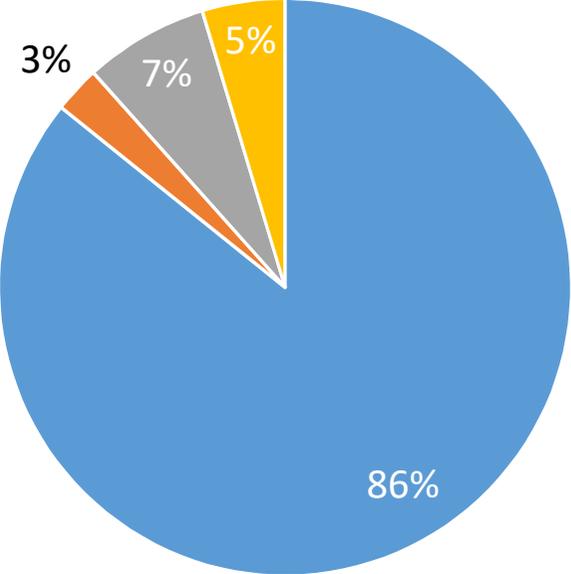


「値上げをせずに据え置き」を希望する世帯が31%でもっとも多く、次いで「高齢者世帯の減額」を希望する世帯が26%となっている

問10.今後の住まいの希望は？

	度数	比率
公団住宅に住み続けたい	294	86%
公営住宅に住み替えたい	9	3%
持ち家・マンションを購入したい	24	7%
その他	16	5%
総計	343	100%

問10.今後の住まいの希望は？(n=343)



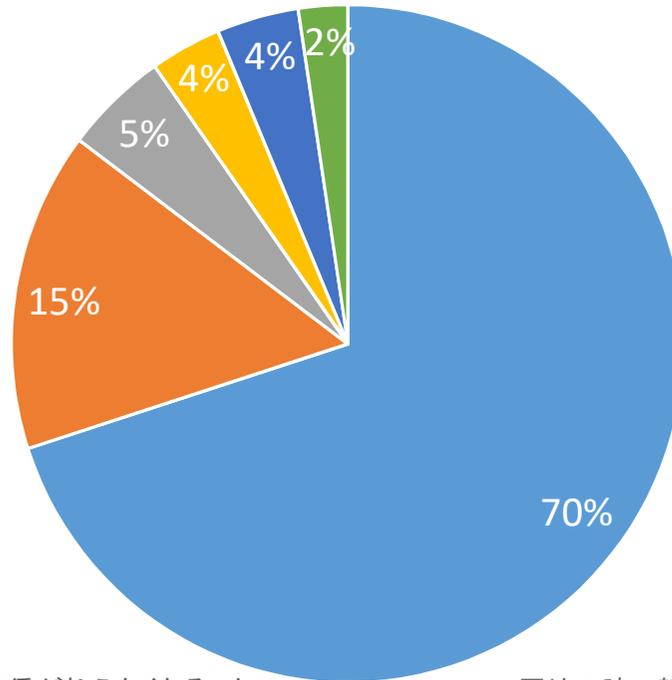
今後も「公団住宅に住み続けたい」と回答した世帯が86%でもっとも多く、次いで「持ち家・マンションを購入したい」の7%となっている

- 公団住宅に住み続けたい
- 公営住宅に住み替えたい
- 持ち家・マンションを購入したい
- その他

問11.公団住宅に住んでいて不安・不満に思うことはどんなことですか？(○はいくつでも可)

	度数	比率
家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること	266	70%
団地の建て替え・集約・売却等で移転を求められること	58	15%
住宅が狭いこと	19	5%
住宅や設備が古いこと	13	3%
団地の住環境が悪化していること	15	4%
その他	9	2%
総計	380	100%

問11.公団住宅に住んでいて不安・不満に思うことはどんなことですか？(○はいくつでも可)(n=380)



将来、「家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること」に不安を感じている世帯が70%でもっとも多く、次いで「団地の建て替え・集約・売却等で移転を求められること」が15%となっている

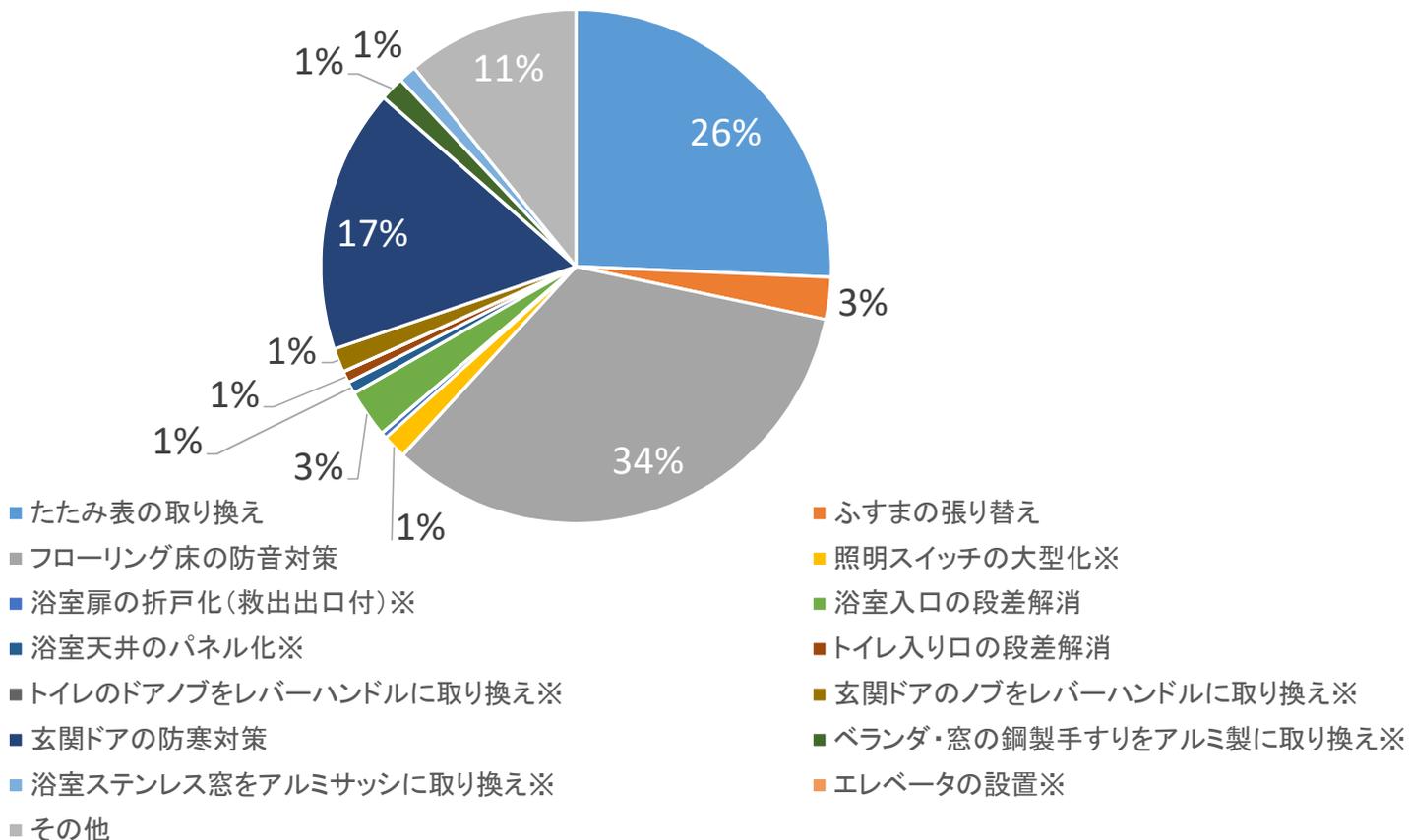
上位2つのどちらも、住み続けることができなくなることへの不安だと言える

- 家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること
- 団地の建て替え・集約・売却等で移転を求められること
- 住宅が狭いこと
- 住宅や設備が古いこと
- 団地の住環境が悪化していること
- その他

問12.住宅の修繕や居住性向上について、どのような要望がありますか？(〇はいくつでも可)(n=265)

問12.住宅の修繕や居住性向上について、どのような要望がありますか？(〇はいくつでも可)

	度数	比率
たたみ表の取り換え	68	26%
ふすまの張り替え	7	3%
フローリング床の防音対策	89	34%
照明スイッチの大型化※	4	2%
浴室扉の折戸化(救出出口付)※	1	0%
浴室入口の段差解消	8	3%
浴室天井のパネル化※	2	1%
トイレ入り口の段差解消	2	1%
トイレのドアノブをレバーハンドルに取り換え※	0	0%
玄関ドアのノブをレバーハンドルに取り換え※	4	2%
玄関ドアの防寒対策	44	17%
ベランダ・窓の鋼製手すりをアルミ製に取り換え※	4	2%
浴室ステンレス窓をアルミサッシに取り換え※	3	1%
エレベータの設置※	0	0%
その他	29	11%
総計	265	100%



「フローリング床の防音対策」が34%ともっとも要望が多く、次いで「たたみ表の取り換え」の26%、「玄関ドアの防寒対策」の17%と続いている

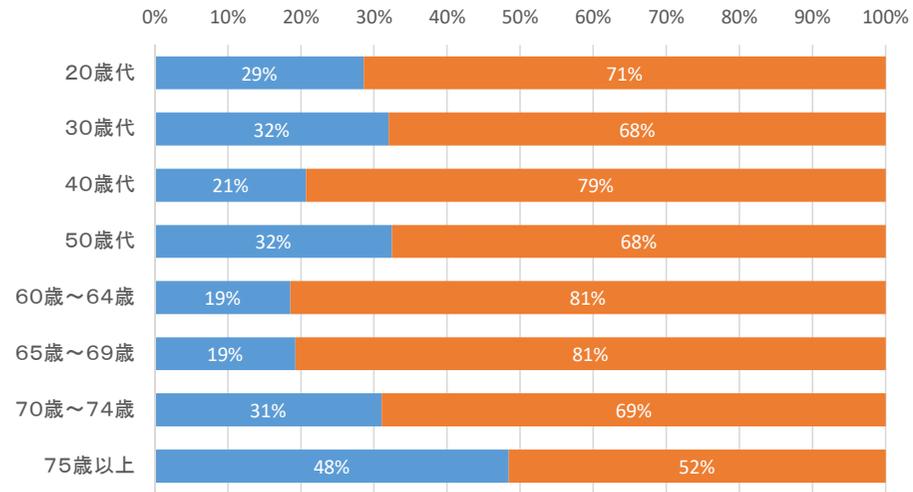
# 年齢別集計

- 問1-2「年齢」の回答をもとにグループ化した上で各回答の合計数を集計
- 少数派である若年世帯の回答が埋もれることなく比較可能

問1-1.  
性別

	度数								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
女性	2	8	6	12	5	5	9	76	123
男性	5	17	23	25	22	21	20	81	214
総計	7	25	29	37	27	26	29	157	337
	比率								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
女性	29%	32%	21%	32%	19%	19%	31%	48%	36%
男性	71%	68%	79%	68%	81%	81%	69%	52%	64%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問1-1.性別

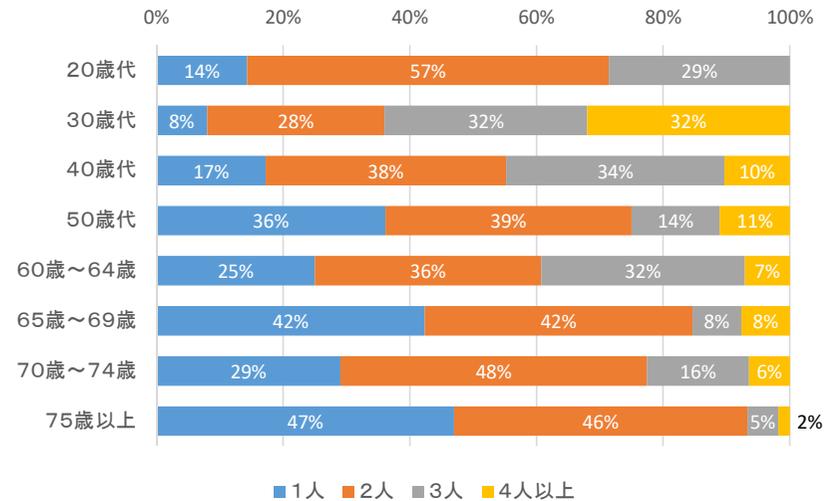


■ 女性 ■ 男性

問2.同居  
家族の  
人数

	度数								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
1人	1	2	5	13	7	11	9	77	125
2人	4	7	11	14	10	11	15	76	148
3人	2	8	10	5	9	2	5	8	49
4人以上		8	3	4	2	2	2	3	24
総計	7	25	29	36	28	26	31	164	346
	比率								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
1人	14%	8%	17%	36%	25%	42%	29%	47%	36%
2人	57%	28%	38%	39%	36%	42%	48%	46%	43%
3人	29%	32%	34%	14%	32%	8%	16%	5%	14%
4人以上	0%	32%	10%	11%	7%	8%	6%	2%	7%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問2.同居家族の人数

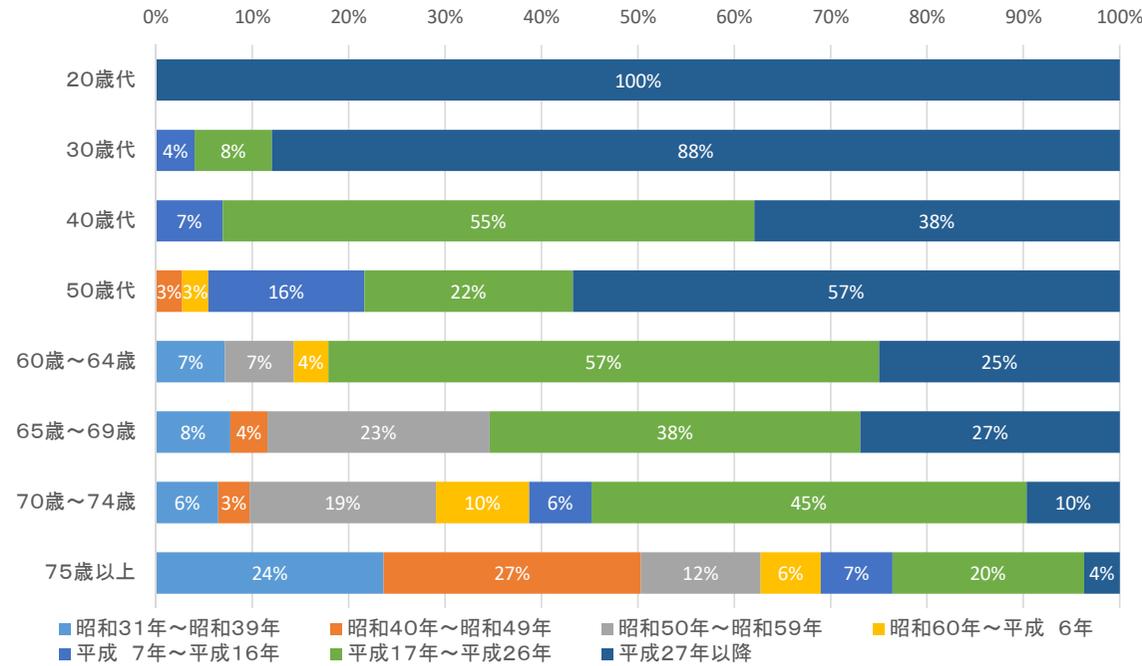


■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人以上

問3.住み始めた年

	度数								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
昭和31年～昭和39年					2	2	2	38	44
昭和40年～昭和49年				1		1	1	43	46
昭和50年～昭和59年					2	6	6	20	34
昭和60年～平成 6年				1	1		3	10	15
平成 7年～平成16年		1	2	6			2	12	23
平成17年～平成26年		2	16	8	16	10	14	32	98
平成27年以降	7	22	11	21	7	7	3	6	84
総計	7	25	29	37	28	26	31	161	344
	比率								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
昭和31年～昭和39年	0%	0%	0%	0%	7%	8%	6%	24%	13%
昭和40年～昭和49年	0%	0%	0%	3%	0%	4%	3%	27%	13%
昭和50年～昭和59年	0%	0%	0%	0%	7%	23%	19%	12%	10%
昭和60年～平成 6年	0%	0%	0%	3%	4%	0%	10%	6%	4%
平成 7年～平成16年	0%	4%	7%	16%	0%	0%	6%	7%	7%
平成17年～平成26年	0%	8%	55%	22%	57%	38%	45%	20%	28%
平成27年以降	100%	88%	38%	57%	25%	27%	10%	4%	24%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問3.住み始めた年



「住み始めた年」に関する回答は、パークタウン東綾瀬では、

- ・ 建て替え前からの通算年数で回答した世帯
- ・ 戻り入居開始の「平成19年」を回答した世帯

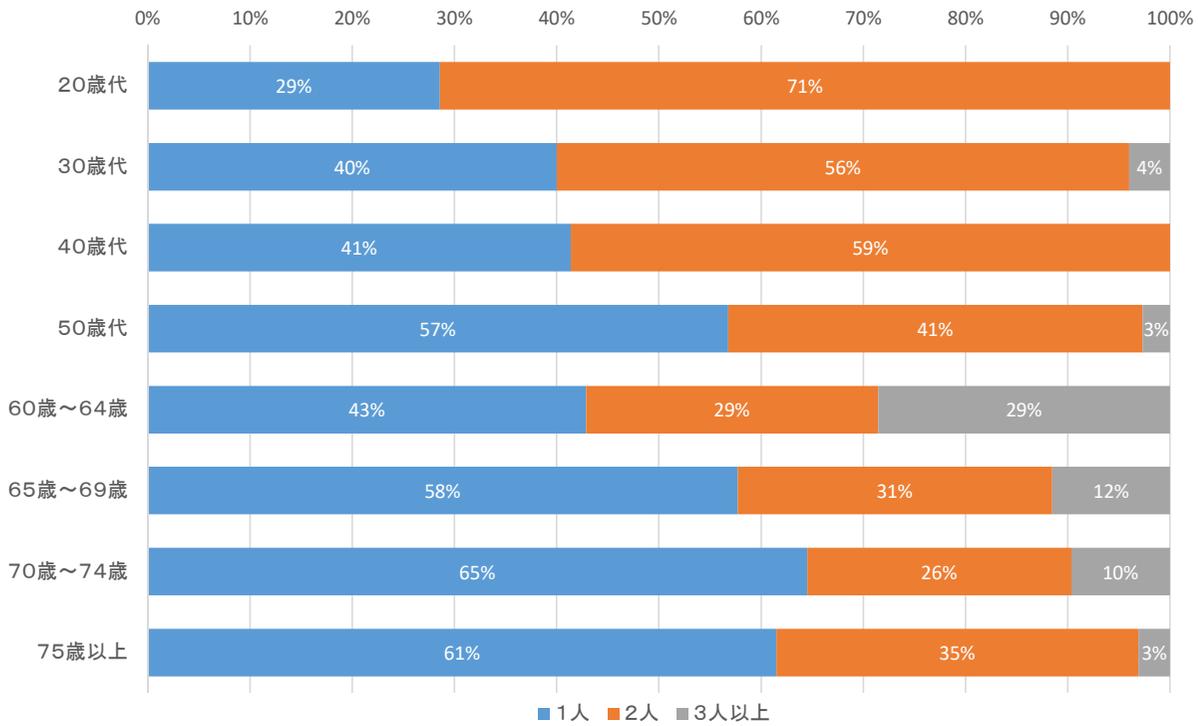
の両方の回答が混在してしまうため、年齢別という区分データではあまり参考にならない

※パークタウン東綾瀬独自のアンケートではなく全国共通の質問であるため

問4.世帯で  
収入を得て  
いる人数

	度数								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳以 上	総計
1人	2	10	12	21	12	15	20	99	191
2人	5	14	17	15	8	8	8	57	132
3人以上		1		1	8	3	3	5	21
総計	7	25	29	37	28	26	31	161	344
	比率								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳以 上	総計
1人	29%	40%	41%	57%	43%	58%	65%	61%	56%
2人	71%	56%	59%	41%	29%	31%	26%	35%	38%
3人以上	0%	4%	0%	3%	29%	12%	10%	3%	6%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4.世帯で収入を得ている人数

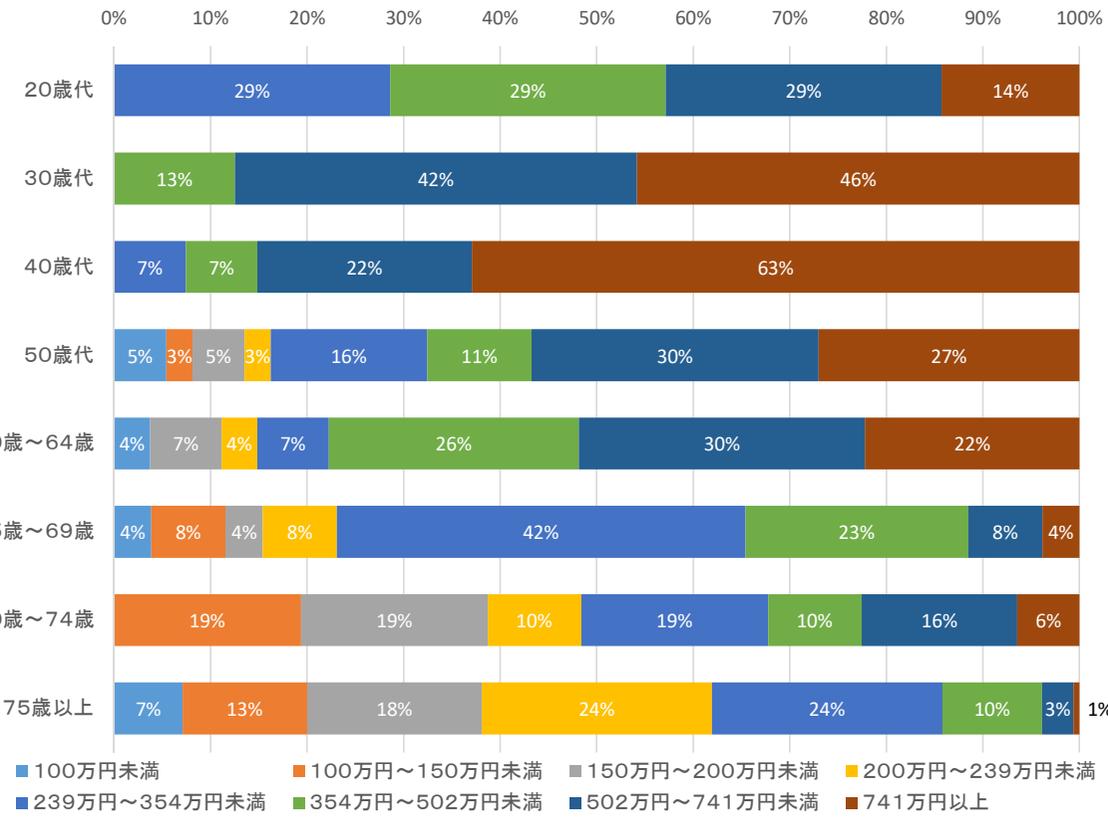


- 世帯内で収入を得ている人が「1人しかいない世帯」の割合は20歳代で約30%なのだが、年齢が上がるにつれて増加する傾向がみられ、70歳以上では60%以上に達している
- 若年者世帯では、世帯主ひとりのみの収入では生活や将来に備えた財産の形成に十分ではなく、いわゆる共働き世帯の割合が多いと予想される
- 高齢者世帯では、もともと世帯主ひとりの収入で家計を支える世帯が多かった世代だったことに加えて、配偶者との死別などで高齢単身世帯が増えていることも世帯内で1人しか収入がない要因となっているかもしれない

問5. 昨年(2019年)の世帯総収入(税込)

	度数								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
100万円未満				2	1	1		11	15
100万円～150万円未満				1		2	6	20	29
150万円～200万円未満				2	2	1	6	28	39
200万円～239万円未満				1	1	2	3	37	44
239万円～354万円未満	2		2	6	2	11	6	37	66
354万円～502万円未満	2	3	2	4	7	6	3	16	43
502万円～741万円未満	2	10	6	11	8	2	5	5	49
741万円以上	1	11	17	10	6	1	2	1	49
総計	7	24	27	37	27	26	31	155	334
	比率								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
100万円未満	0%	0%	0%	5%	4%	4%	0%	7%	4%
100万円～150万円未満	0%	0%	0%	3%	0%	8%	19%	13%	9%
150万円～200万円未満	0%	0%	0%	5%	7%	4%	19%	18%	12%
200万円～239万円未満	0%	0%	0%	3%	4%	8%	10%	24%	13%
239万円～354万円未満	29%	0%	7%	16%	7%	42%	19%	24%	20%
354万円～502万円未満	29%	13%	7%	11%	26%	23%	10%	10%	13%
502万円～741万円未満	29%	42%	22%	30%	30%	8%	16%	3%	15%
741万円以上	14%	46%	63%	27%	22%	4%	6%	1%	15%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問5. 昨年(2019年)の世帯総収入(税込み)



- 若年者世帯から高齢者世帯になるに従って世帯収入が減少する傾向がみられる
- ただし、問4の「若年世帯の方が2人以上で収入を得ている割合が高い」という結果と合わせると「1人当たりの収入」には大きな差があるとは言い難く、単純に若年者世帯にゆとりがあるとはいえない

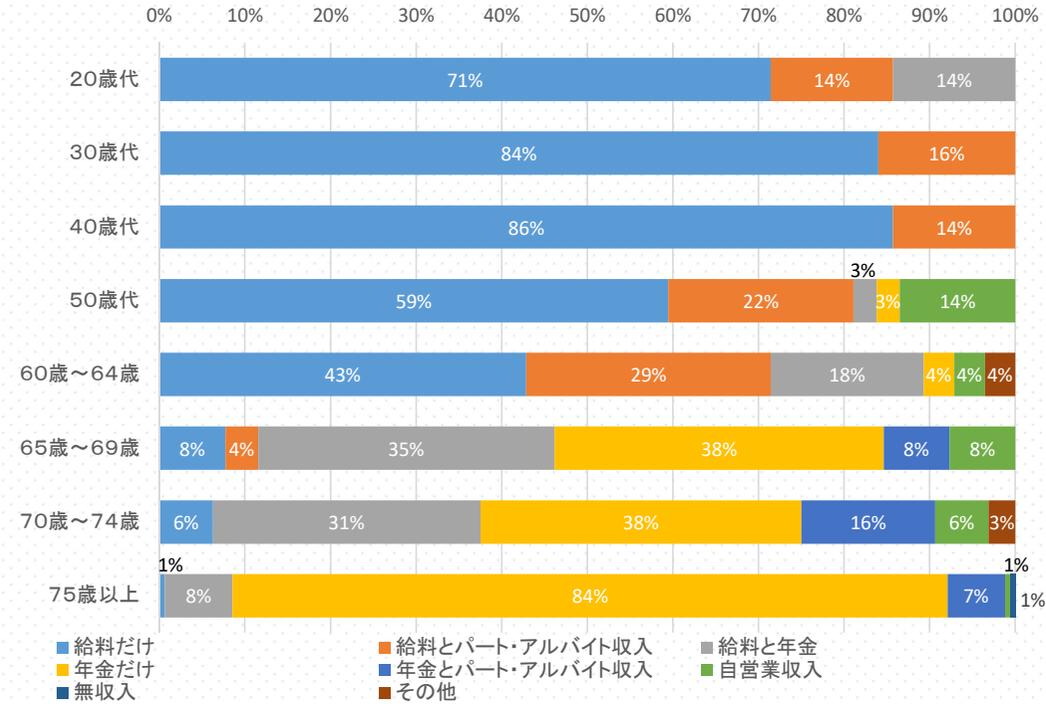
問6.世帯収入の主な内容

	度数								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計
給料だけ	5	21	24	22	12	2	2	1	89
給料とパート・アルバイト収入	1	4	4	8	8	1			26
給料と年金	1			1	5	9	10	13	39
年金だけ				1	1	10	12	137	161
年金とパート・アルバイト収入						2	5	11	18
自営業収入				5	1	2	2	1	11
無収入								1	1
その他					1		1		2
総計	7	25	28	37	28	26	32	164	347

	比率								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計
給料だけ	71%	84%	86%	59%	43%	8%	6%	1%	26%
給料とパート・アルバイト収入	14%	16%	14%	22%	29%	4%	0%	0%	7%
給料と年金	14%	0%	0%	3%	18%	35%	31%	8%	11%
年金だけ	0%	0%	0%	3%	4%	38%	38%	84%	46%
年金とパート・アルバイト収入	0%	0%	0%	0%	0%	8%	16%	7%	5%
自営業収入	0%	0%	0%	14%	4%	8%	6%	1%	3%
無収入	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%
その他	0%	0%	0%	0%	4%	0%	3%	0%	1%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問6.世帯収入の主な内容

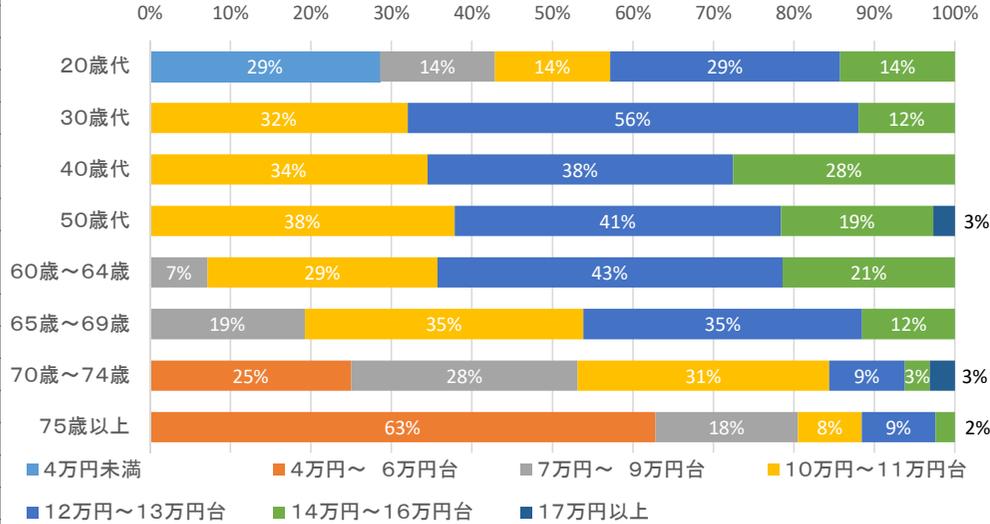


- 65歳を境に収入源が「給料中心」から「年金中心」に切り替わっている
- 「65歳～69歳」で35%、「70歳～74歳」で31%の世帯が「給料と年金」の両方から収入を得ており、年金のみでは収入が十分ではなく、いわゆる役職定年後も働き続ける必要があることがうかがえる

問7.現在の家賃(共益費含む)

	度数								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
4万円未満	2								2
4万円～6万円台							8	103	111
7万円～9万円台	1				2	5	9	29	46
10万円～11万円台	1	8	10	14	8	9	10	13	73
12万円～13万円台	2	14	11	15	12	9	3	15	81
14万円～16万円台	1	3	8	7	6	3	1	4	33
17万円以上				1			1		2
総計	7	25	29	37	28	26	32	164	348
	比率								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
4万円未満	29%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%
4万円～6万円台	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%	63%	32%
7万円～9万円台	14%	0%	0%	0%	7%	19%	28%	18%	13%
10万円～11万円台	14%	32%	34%	38%	29%	35%	31%	8%	21%
12万円～13万円台	29%	56%	38%	41%	43%	35%	9%	9%	23%
14万円～16万円台	14%	12%	28%	19%	21%	12%	3%	2%	9%
17万円以上	0%	0%	0%	3%	0%	0%	3%	0%	1%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問7.現在の家賃(共益費含む)



- ほとんどの年代において、パークタウン東綾瀬内の多くの住戸が該当する価格帯である、11万円台～12万円を含む価格帯の回答が最も多くなっている
- 75歳以上の高齢者世帯では、「4万円～6万円台」という回答の割合が最も多く、減額措置などの補助を利用して本来家賃よりも低価格で居住している世帯が多いことがわかる
- 若年世帯でも本来家賃より低い家賃で入居している世帯が存在するが、これは「会社が借り上げて社宅扱いで提供」されていたり、家賃の一部を住宅手当として支給されている世帯などだと考えられる

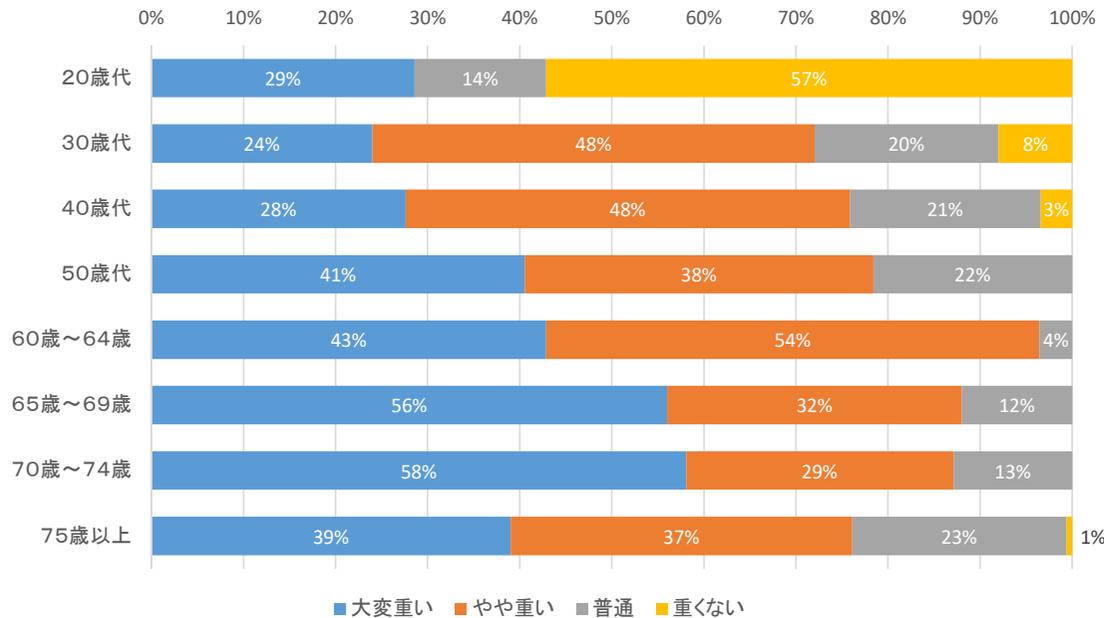
問8.家賃負担についてどのように感じていますか？

	度数								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計
大変重い	2	6	8	15	12	14	18	62	137
やや重い		12	14	14	15	8	9	59	131
普通	1	5	6	8	1	3	4	37	65
重くない	4	2	1					1	8
総計	7	25	29	37	28	25	31	159	341

	比率								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計
大変重い	29%	24%	28%	41%	43%	56%	58%	39%	40%
やや重い	0%	48%	48%	38%	54%	32%	29%	37%	38%
普通	14%	20%	21%	22%	4%	12%	13%	23%	19%
重くない	57%	8%	3%	0%	0%	0%	0%	1%	2%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問8.家賃負担についてう感じていますか？

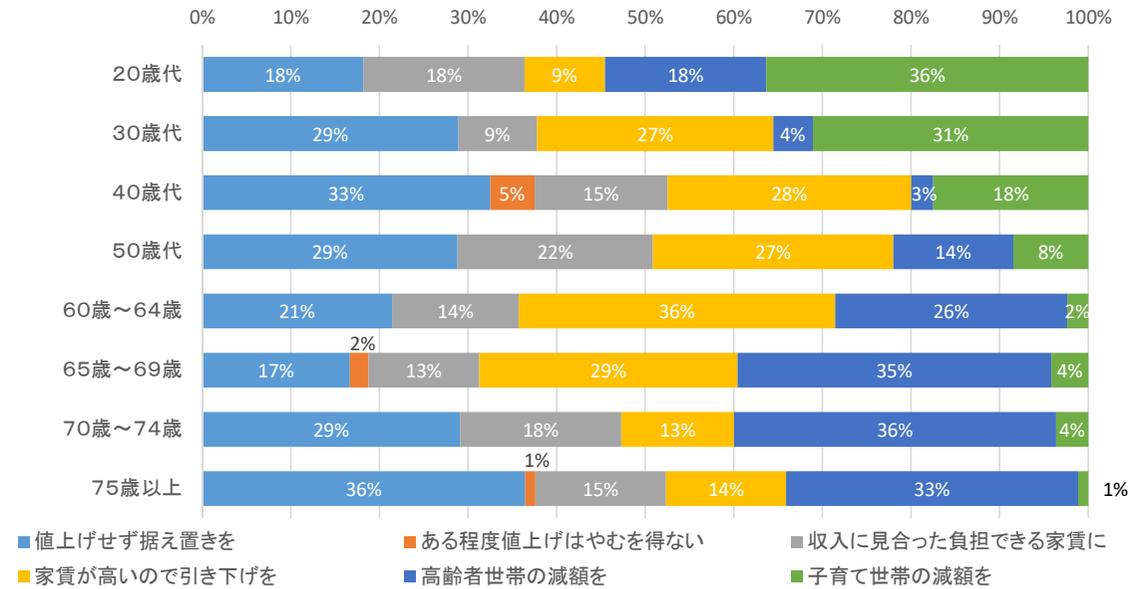


- 20歳代を除くすべての年齢層で「大変重い」または「やや重い」が最も多く選択されている
- 「65歳～69歳」および「70歳～74歳」では「大変重い」という回答の割合が圧倒的に高く、約6割ほどに達している
- 「20歳代」では「重くない」という回答の割合が最も高くなっているが、これは問7の結果より「勤務先での家賃補助などで本来家賃全額を支払う必要がない世帯」も含まれていると考えられる

問9.家賃についてどう思いますか？  
(〇はいくつでも可)

	度数								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
値上げせず据え置きを	2	13	13	17	9	8	16	94	172
ある程度値上げはやむを得ない			2			1		3	6
収入に見合った負担できる家賃に	2	4	6	13	6	6	10	38	85
家賃が高いので引き下げを	1	12	11	16	15	14	7	35	111
高齢者世帯の減額を	2	2	1	8	11	17	20	85	146
子育て世帯の減額を	4	14	7	5	1	2	2	3	38
総計	11	45	40	59	42	48	55	258	558
	比率								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
値上げせず据え置きを	18%	29%	33%	29%	21%	17%	29%	36%	31%
ある程度値上げはやむを得ない	0%	0%	5%	0%	0%	2%	0%	1%	1%
収入に見合った負担できる家賃に	18%	9%	15%	22%	14%	13%	18%	15%	15%
家賃が高いので引き下げを	9%	27%	28%	27%	36%	29%	13%	14%	20%
高齢者世帯の減額を	18%	4%	3%	14%	26%	35%	36%	33%	26%
子育て世帯の減額を	36%	31%	18%	8%	2%	4%	4%	1%	7%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問9.家賃についてどう思いますか？ (〇はいくつでも)



- 「20歳代」と「30歳代」では「子育て世帯の減額」を望む回答が最も多い
- 「65歳～69歳」と「70歳～74歳」では「高齢者世帯の減額」を希望する回答が最も多い
- 「75歳以上」は建て替え時の特別減額ルールが適用される年代に当たるためか、「値上げをせずに据え置き」を希望する回答が最も多い
- 「40歳代」と「50歳代」は、「値上げをせずに据え置き」を希望する回答が最も多い

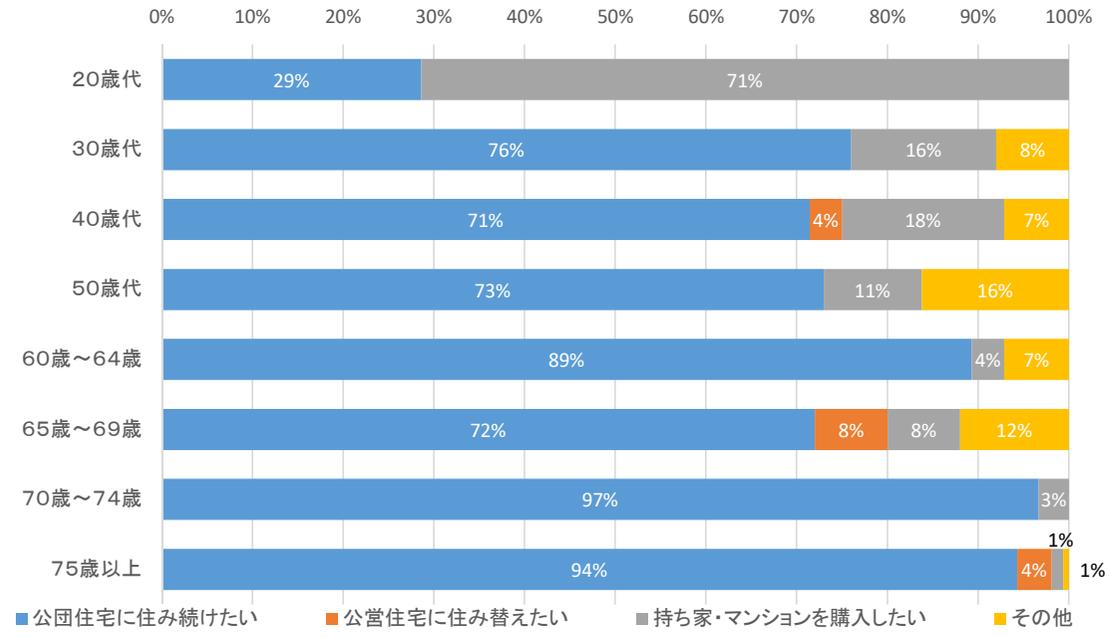
問10.今後の住まいの希望は？

	度数								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
公団住宅に住み続けたい	2	19	20	27	25	18	29	149	289
公営住宅に住み替えたい			1			2		6	9
持ち家・マンションを購入したい	5	4	5	4	1	2	1	2	24
その他		2	2	6	2	3		1	16
総計	7	25	28	37	28	25	30	158	338

	比率								総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	
公団住宅に住み続けたい	29%	76%	71%	73%	89%	72%	97%	94%	86%
公営住宅に住み替えたい	0%	0%	4%	0%	0%	8%	0%	4%	3%
持ち家・マンションを購入したい	71%	16%	18%	11%	4%	8%	3%	1%	7%
その他	0%	8%	7%	16%	7%	12%	0%	1%	5%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問10.今後の住まいの希望は？

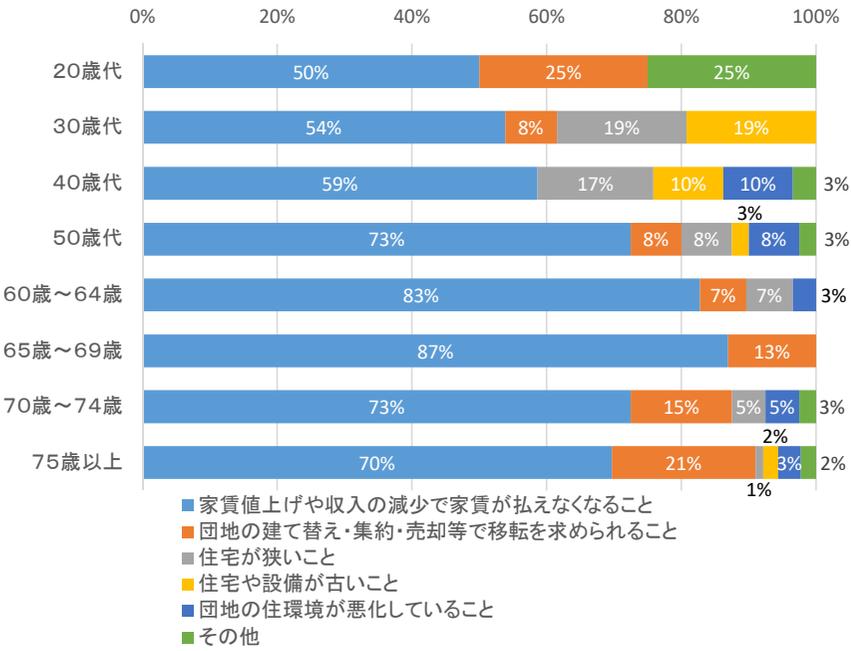


- 「20歳代」を除くすべての年齢層において「公団住宅に住み続けたい」という回答が最も多く選択されている
- 「20歳代」は「持ち家・マンションを購入したい」と回答した割合が最も高くなっている

問11.公団住宅に住んでいて不安・不満に思うことはどんなことですか？(〇はいくつでも可)

	度数								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計
家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること	4	14	17	29	24	20	29	124	261
団地の建て替え・集約・売却等で移転を求められること	2	2		3	2	3	6	38	56
住宅が狭いこと			5	5	3	2		2	19
住宅や設備が古いこと			5	3	1				4
団地の住環境が悪化していること				3	3	1		2	6
その他	2			1	1			1	4
総計	8	26	29	40	29	23	40	178	373
	比率								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計
家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること	50%	54%	59%	73%	83%	87%	73%	70%	70%
団地の建て替え・集約・売却等で移転を求められること	25%	8%	0%	8%	7%	13%	15%	21%	15%
住宅が狭いこと	0%	19%	17%	8%	7%	0%	5%	1%	5%
住宅や設備が古いこと	0%	19%	10%	3%	0%	0%	0%	2%	3%
団地の住環境が悪化していること	0%	0%	10%	8%	3%	0%	5%	3%	4%
その他	25%	0%	3%	3%	0%	0%	3%	2%	2%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問11.公団住宅に住んでいて不安・不満に思うことはどんなことですか？(〇はいくつでも可)

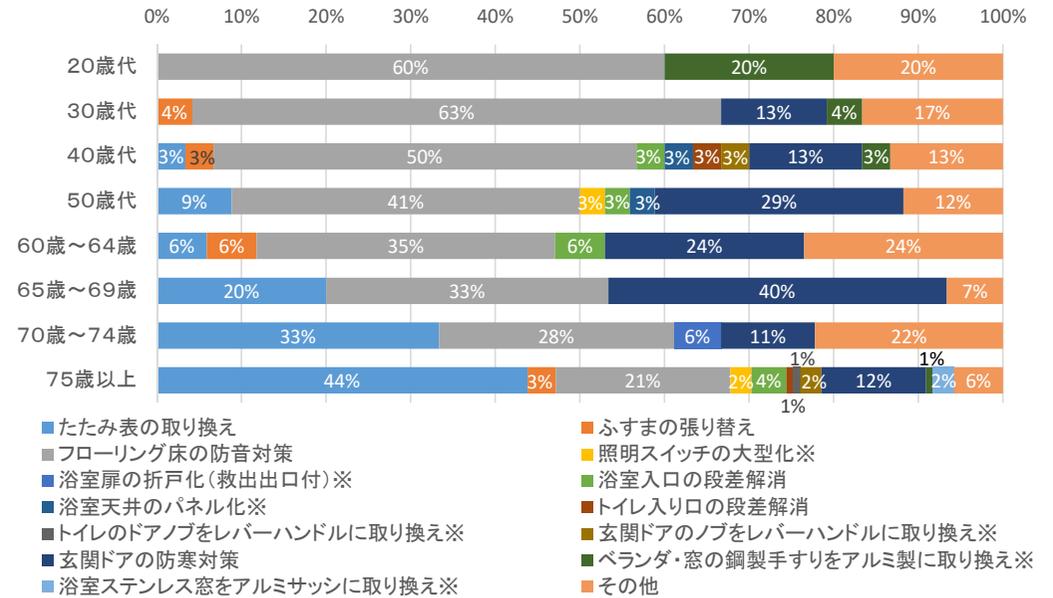


- 全ての年齢層で「家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること」と回答した割合が最も高くなっている
- 「家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること」と回答した割合は最も低い「20歳代」でも50%と非常に高く、「65歳～69歳」の87%までの範囲では年齢が高くなるに従ってその割合が増加している
- 「家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること」と回答した割合は、「70歳～74歳」で73%、「75歳以上」で70%で、「65歳～69歳」の87%よりかなり低くなっている

問12.住宅の修繕や居住性向上について、どのような要望がありますか？(〇はいくつでも可)

	度数								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計
たたみ表の取り換え			1	3	1	3	6	53	67
ふすまの張り替え		1	1		1			4	7
フローリング床の防音対策	3	15	15	14	6	5	5	25	88
照明スイッチの大型化※				1				3	4
浴室扉の折戸化(救出出口付)※							1		1
浴室入口の段差解消		1	1		1			5	8
浴室天井のパネル化※		1	1						2
トイレ入り口の段差解消		1						1	2
トイレのドアノブをレバーハンドルに取り換え※								1	1
玄関ドアのノブをレバーハンドルに取り換え※			1					3	4
玄関ドアの防寒対策		3	4	10	4	6	2	15	44
ベランダ・窓の鋼製手すりをアルミ製に取り換え※	1	1	1					1	4
浴室ステンレス窓をアルミサッシに取り換え※								3	3
その他	1	4	4	4	4	1	4	7	29
総計	5	24	30	34	17	15	18	121	264
	比率								
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	総計
たたみ表の取り換え	0%	0%	3%	9%	6%	20%	33%	44%	25%
ふすまの張り替え	0%	4%	3%	0%	6%	0%	0%	3%	3%
フローリング床の防音対策	60%	63%	50%	41%	35%	33%	28%	21%	33%
照明スイッチの大型化※	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	2%	2%
浴室扉の折戸化(救出出口付)※	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	0%	0%
浴室入口の段差解消	0%	0%	3%	3%	6%	0%	0%	4%	3%
浴室天井のパネル化※	0%	0%	3%	3%	0%	0%	0%	0%	1%
トイレ入り口の段差解消	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	1%	1%
トイレのドアノブをレバーハンドルに取り換え※	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%
玄関ドアのノブをレバーハンドルに取り換え※	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	2%	2%
玄関ドアの防寒対策	0%	13%	13%	29%	24%	40%	11%	12%	17%
ベランダ・窓の鋼製手すりをアルミ製に取り換え※	20%	4%	3%	0%	0%	0%	0%	1%	2%
浴室ステンレス窓をアルミサッシに取り換え※	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1%
その他	20%	17%	13%	12%	24%	7%	22%	6%	11%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問12.住宅の修繕や居住性向上について、どのような要望がありますか？(〇はいくつでも可)



- 「20歳代」から「60歳～64歳」では「フローリング床の防音対策」の希望が最も高くなっている
- 「65歳～69歳」では「玄関ドアの防寒対策」の希望が最も高くなっている
- 「70歳～74歳」と「75歳以上」では「たたみ表の取り換え」の希望が最も高くなっている

# 2019年世帯総年収別集計

- 問5「昨年(2019年)の世帯総収入(税込み)」の回答をもとにグループ化した上で各回答の合計数を集計

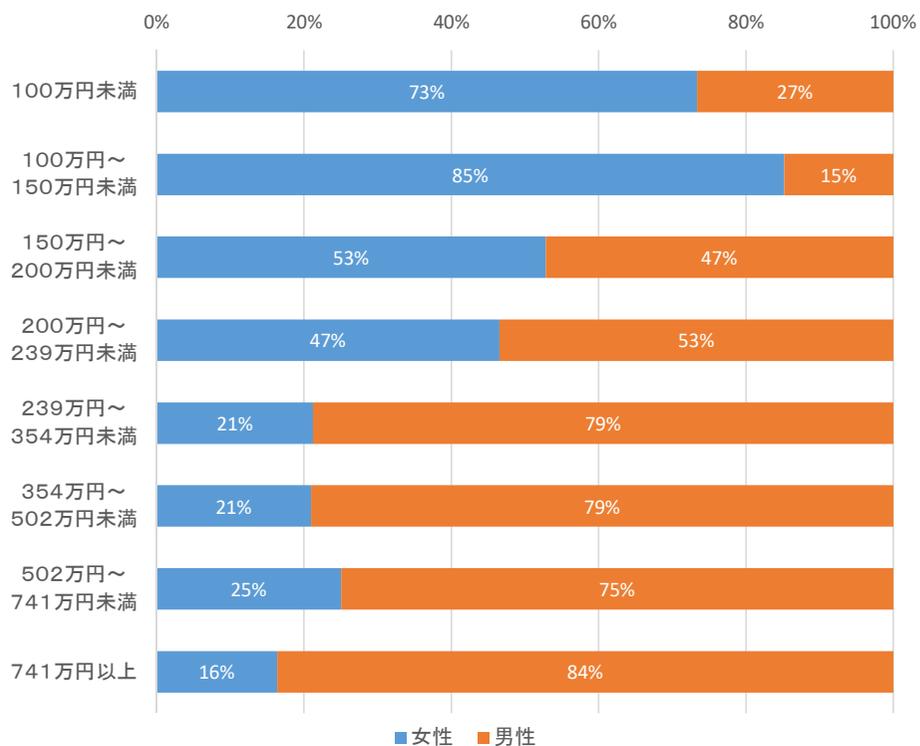
問1-1.性別

	度数								
	100万円未満	100万円～ 150万円未満	150万円～ 200万円未満	200万円～ 239万円未満	239万円～ 354万円未満	354万円～ 502万円未満	502万円～ 741万円未満	741万円以上	総計
女性	11	23	19	20	14	9	12	8	116
男性	4	4	17	23	52	34	36	41	211
総計	15	27	36	43	66	43	48	49	327

	比率								
	100万円未満	100万円～ 150万円未満	150万円～ 200万円未満	200万円～ 239万円未満	239万円～ 354万円未満	354万円～ 502万円未満	502万円～ 741万円未満	741万円以上	総計
女性	73%	85%	53%	47%	21%	21%	25%	16%	35%
男性	27%	15%	47%	53%	79%	79%	75%	84%	65%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問1-1.性別

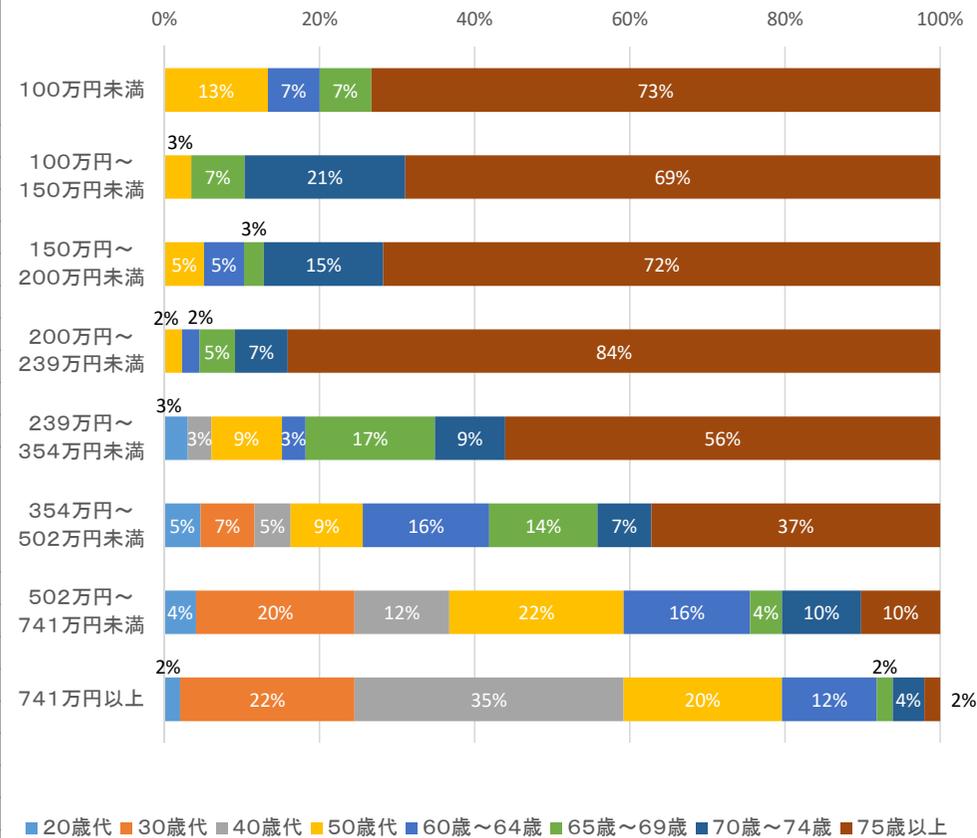


世帯年間収入が高くなるにつれて世帯主が男性である比率が高くなる傾向が見られる。

問1-2.年齢

	度数								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
20歳代					2	2	2	1	7
30歳代						3	10	11	24
40歳代					2	2	6	17	27
50歳代	2	1	2	1	6	4	11	10	37
60歳～64歳	1		2	1	2	7	8	6	27
65歳～69歳	1	2	1	2	11	6	2	1	26
70歳～74歳		6	6	3	6	3	5	2	31
75歳以上	11	20	28	37	37	16	5	1	155
総計	15	29	39	44	66	43	49	49	334
	比率								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
20歳代	0%	0%	0%	0%	3%	5%	4%	2%	2%
30歳代	0%	0%	0%	0%	0%	7%	20%	22%	7%
40歳代	0%	0%	0%	0%	3%	5%	12%	35%	8%
50歳代	13%	3%	5%	2%	9%	9%	22%	20%	11%
60歳～64歳	7%	0%	5%	2%	3%	16%	16%	12%	8%
65歳～69歳	7%	7%	3%	5%	17%	14%	4%	2%	8%
70歳～74歳	0%	21%	15%	7%	9%	7%	10%	4%	9%
75歳以上	73%	69%	72%	84%	56%	37%	10%	2%	46%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問1-2.年齢

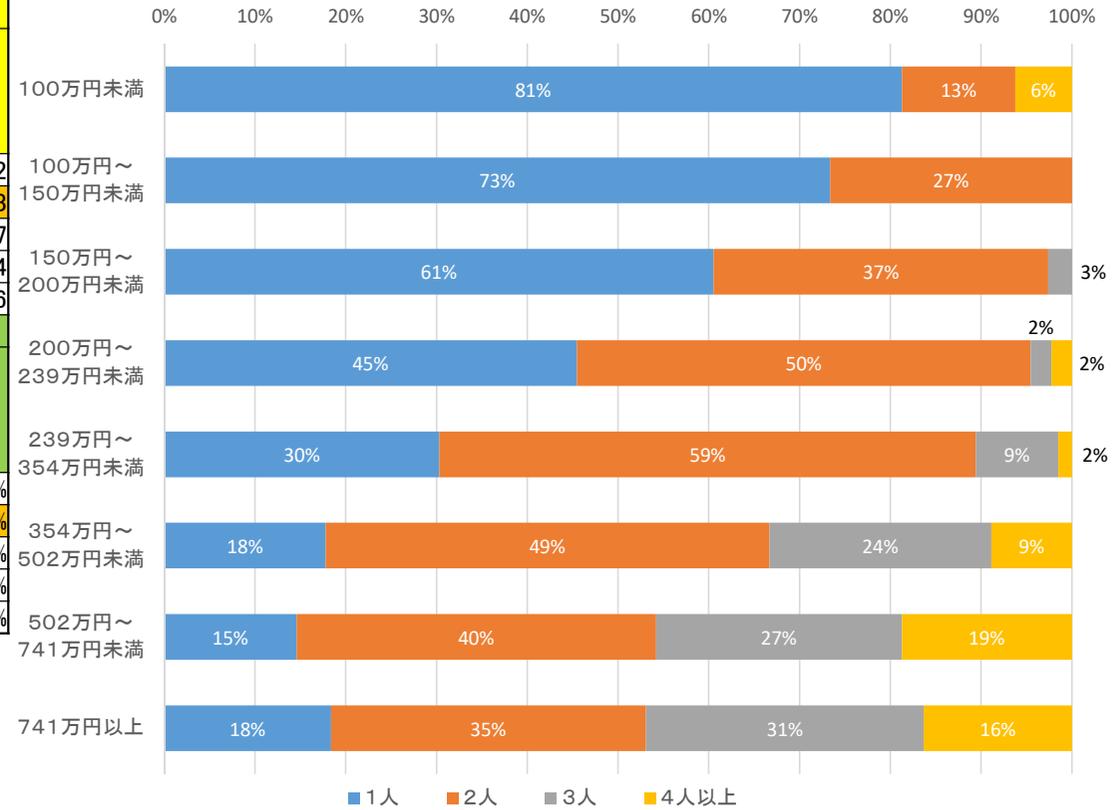


- 「20歳代」「30歳代」「40歳代」においては年収239万円未満の世帯は存在しない
- 「502万円～741万円未満」では「50歳代」、「741万円以上」では「40歳代」の世帯が最も多くなっている
- 502万円未満の世帯はすべて「75歳以上」が最も多くなっているが、住民の半数近くが高齢者という現状を考えると当然の結果であり、この部分のデータにはあまり意味がない

問2.同居  
家族の人数

	度数								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
1人	13	22	23	20	20	8	7	9	122
2人	2	8	14	22	39	22	19	17	143
3人			1	1	6	11	13	15	47
4人以上	1			1	1	4	9	8	24
総計	16	30	38	44	66	45	48	49	336
	比率								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
1人	81%	73%	61%	45%	30%	18%	15%	18%	36%
2人	13%	27%	37%	50%	59%	49%	40%	35%	43%
3人	0%	0%	3%	2%	9%	24%	27%	31%	14%
4人以上	6%	0%	0%	2%	2%	9%	19%	16%	7%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問2.同居家族の人数



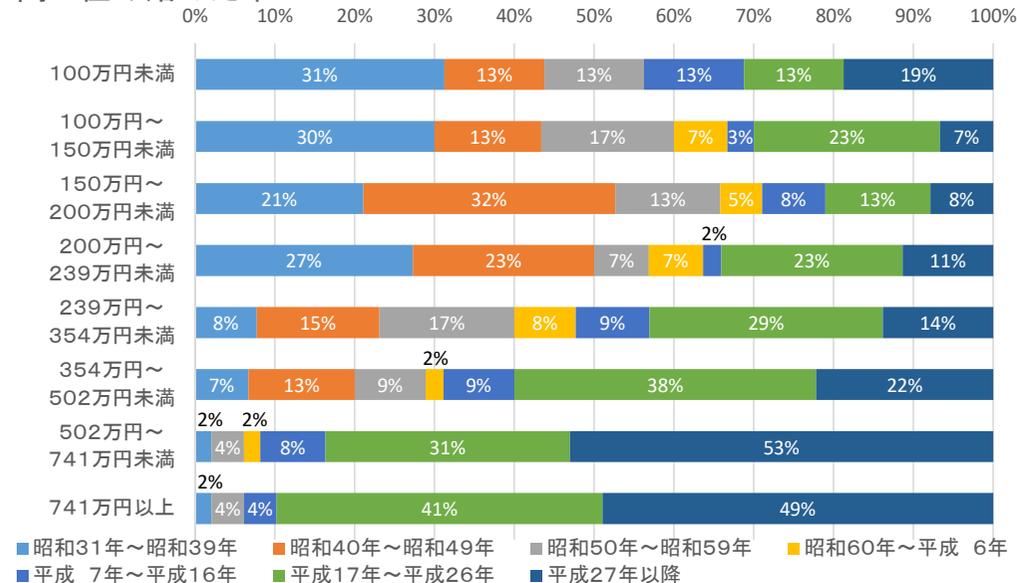
世帯総年収が高くなるに従って、1人世帯の割合が減少して同居家族の人数が増える傾向がみられる

問3.住み始めた年

	度数								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
昭和31年～昭和39年	5	9	8	12	5	3	1	1	44
昭和40年～昭和49年	2	4	12	10	10	6			44
昭和50年～昭和59年	2	5	5	3	11	4	2	2	34
昭和60年～平成6年		2	2	3	5	1	1		14
平成7年～平成16年	2	1	3	1	6	4	4	2	23
平成17年～平成26年	2	7	5	10	19	17	15	20	95
平成27年以降	3	2	3	5	9	10	26	24	82
総計	16	30	38	44	65	45	49	49	336

	比率								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
昭和31年～昭和39年	31%	30%	21%	27%	8%	7%	2%	2%	13%
昭和40年～昭和49年	13%	13%	32%	23%	15%	13%	0%	0%	13%
昭和50年～昭和59年	13%	17%	13%	7%	17%	9%	4%	4%	10%
昭和60年～平成6年	0%	7%	5%	7%	8%	2%	2%	0%	4%
平成7年～平成16年	13%	3%	8%	2%	9%	9%	8%	4%	7%
平成17年～平成26年	13%	23%	13%	23%	29%	38%	31%	41%	28%
平成27年以降	19%	7%	8%	11%	14%	22%	53%	49%	24%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問3.住み始めた年



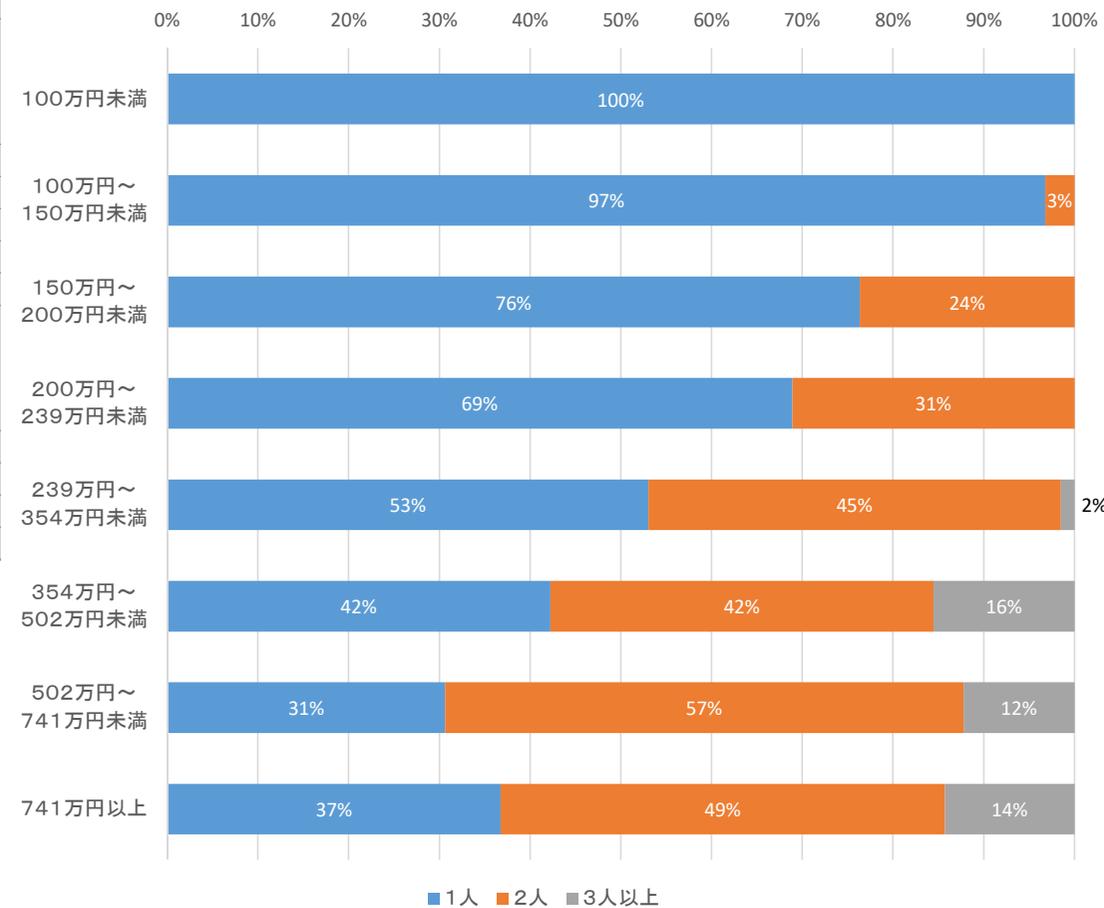
- 最も多かった回答に注目すると世帯年収239万円を境に低年収世帯は東綾瀬団地初期から住んでいる世帯、高年収世帯は建て替え(平成19年)後から住んでいる世帯に分かれている
- 東綾瀬団地初期のころから住み続けている世帯は低年収世帯でも他に転居することが難しいと考えられる
- 一方、建て替え後のパークタウン東綾瀬は世帯総年収が239万円を下回るような世帯には入居が難しいということがわかる
- 20代の多くは当団地に入居しにくいことがわかる※

※厚労省発表の令和元年賃金構造基本統計調査によれば、労働人口である20代～50代までの年収の中央値は240～456万円です。20代は年収240万円に当たります。

問4.世帯で収入を得ている人数

	度数								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
1人	15	30	29	31	35	19	15	18	192
2人		1	9	14	30	19	28	24	125
3人以上					1	7	6	7	21
総計	15	31	38	45	66	45	49	49	338
	比率								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
1人	100%	97%	76%	69%	53%	42%	31%	37%	57%
2人	0%	3%	24%	31%	45%	42%	57%	49%	37%
3人以上	0%	0%	0%	0%	2%	16%	12%	14%	6%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問4.世帯で収入を得ている人数

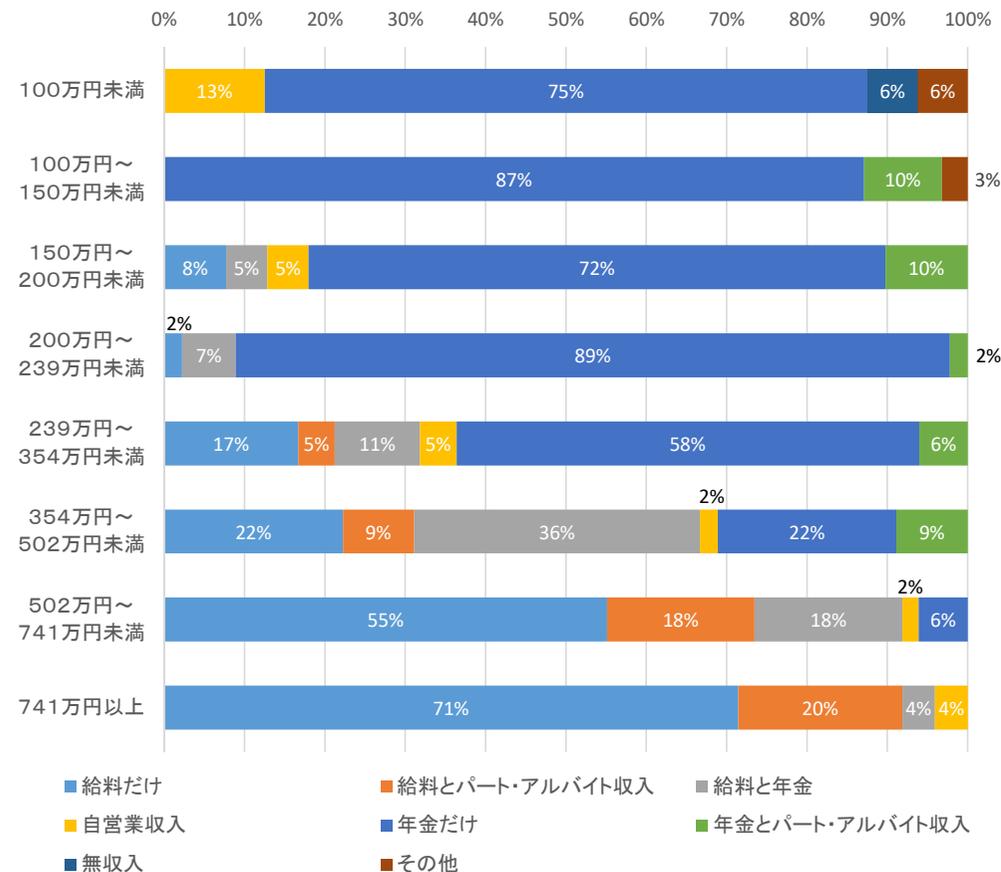


- 世帯総収入が増加するに従って、世帯で収入を得ている人数が増加する傾向がみられる
- 世帯総年収が239万円以上では世帯で収入を得ている人数が3人以上という世帯も現れている

問6.世帯収入の主な内容

	度数								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
給料だけ			3	1	11	10	27	35	87
給料とパート・アルバイト収入					3	4	9	10	26
給料と年金			2	3	7	16	9	2	39
自営業収入	2		2		3	1	1	2	11
年金だけ	12	27	28	40	38	10	3		158
年金とパート・アルバイト収入		3	4	1	4	4			16
無収入	1								1
その他	1	1							2
総計	16	31	39	45	66	45	49	49	340
	比率								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
給料だけ	0%	0%	8%	2%	17%	22%	55%	71%	26%
給料とパート・アルバイト収入	0%	0%	0%	0%	5%	9%	18%	20%	8%
給料と年金	0%	0%	5%	7%	11%	36%	18%	4%	11%
自営業収入	13%	0%	5%	0%	5%	2%	2%	4%	3%
年金だけ	75%	87%	72%	89%	58%	22%	6%	0%	46%
年金とパート・アルバイト収入	0%	10%	10%	2%	6%	9%	0%	0%	5%
無収入	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
その他	6%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問6.世帯収入の主な内容

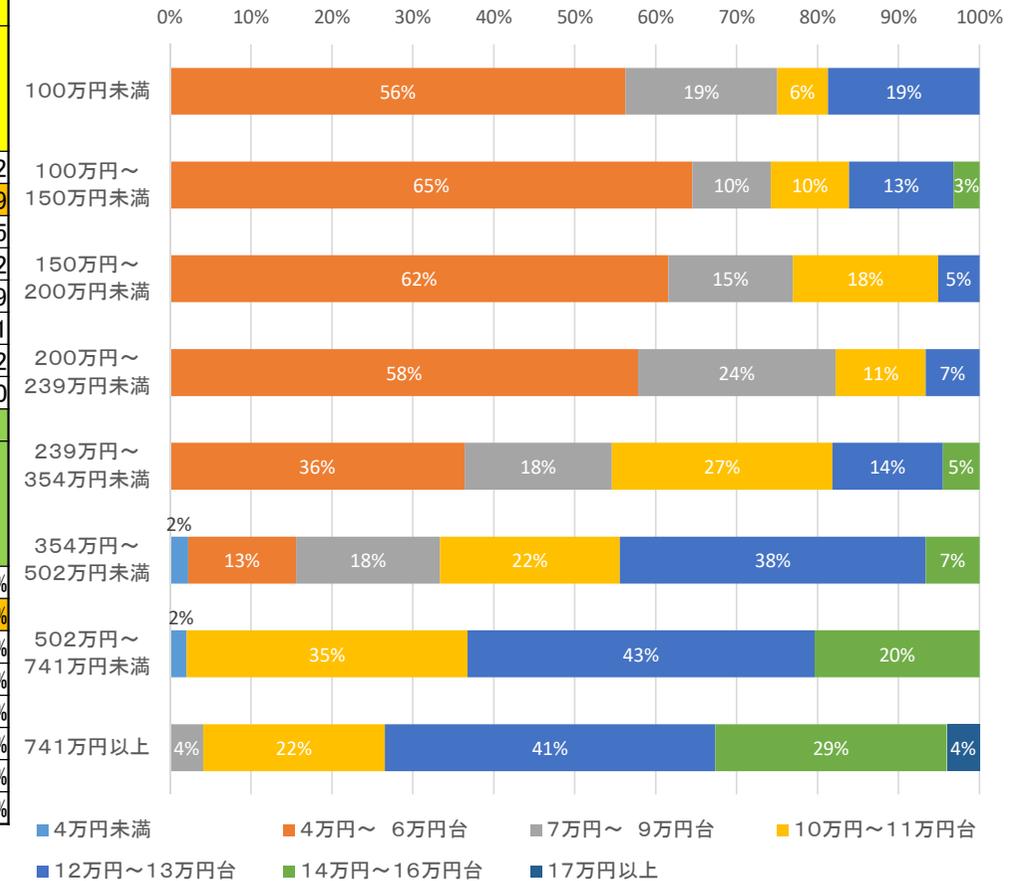


- 世帯総年収が354万円未満の世帯はいずれも主な収入源が「年金のみ」という回答が最も多い
- 世帯総年収が「354万円～502万円未満」の世帯は主な収入源が「給料と年金」という回答が最も多い
- 世帯総年収が502万円以上ある世帯では主な収入源が「給料のみ」という回答が最も多い

問7.現在の家賃(共益費含む)

	度数								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
4万円未満						1	1		2
4万円～6万円台	9	20	24	26	24	6			109
7万円～9万円台	3	3	6	11	12	8		2	45
10万円～11万円台	1	3	7	5	18	10	17	11	72
12万円～13万円台	3	4	2	3	9	17	21	20	79
14万円～16万円台		1			3	3	10	14	31
17万円以上								2	2
総計	16	31	39	45	66	45	49	49	340
	比率								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
4万円未満	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	0%	1%
4万円～6万円台	56%	65%	62%	58%	36%	13%	0%	0%	32%
7万円～9万円台	19%	10%	15%	24%	18%	18%	0%	4%	13%
10万円～11万円台	6%	10%	18%	11%	27%	22%	35%	22%	21%
12万円～13万円台	19%	13%	5%	7%	14%	38%	43%	41%	23%
14万円～16万円台	0%	3%	0%	0%	5%	7%	20%	29%	9%
17万円以上	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	1%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問7.現在の家賃(共益費含む)

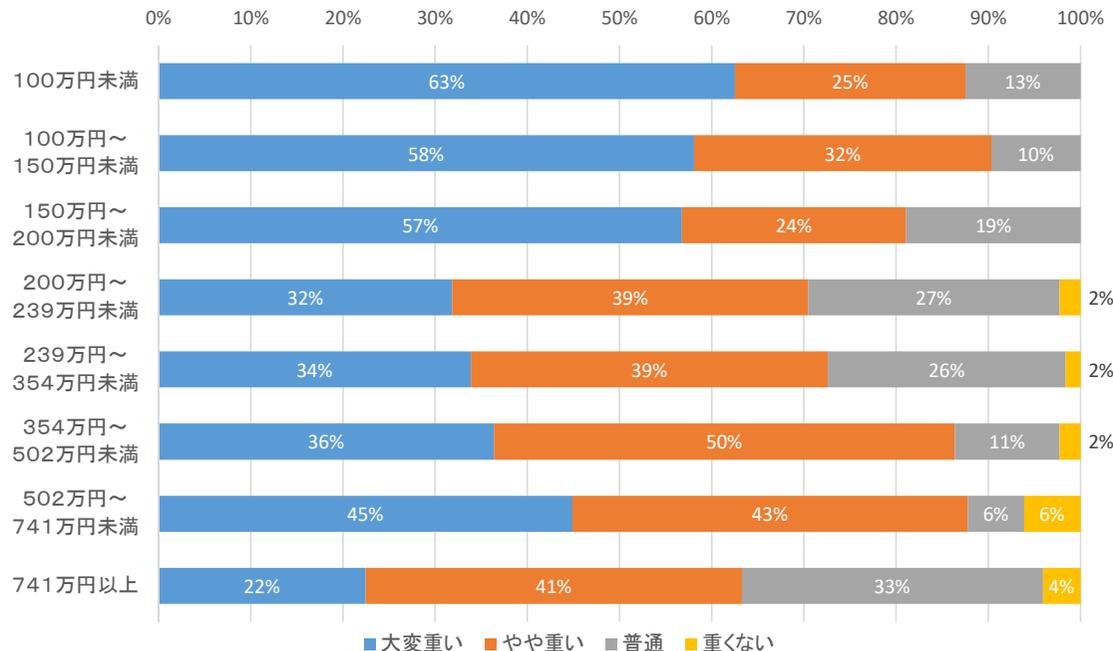


- 世帯総年収が354万円未満は、いずれも「4万円～6万円台」の家賃と回答した世帯が最も多く、本来家賃から大幅な減額措置を受けている世帯が多いことがわかる
- 世帯総年収が354万円以上は、いずれも「12万円～13万円台」の家賃と回答した世帯が最も多い
- 「354万円～502万円未満」と「502万円～741万円未満」では、自己負担分が4万円以下の世帯も存在する

問8.家賃負担についてどのように感じていますか？

	度数								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
大変重い	10	18	21	14	21	16	22	11	133
やや重い	4	10	9	17	24	22	21	20	127
普通	2	3	7	12	16	5	3	16	64
重くない				1	1	1	3	2	8
総計	16	31	37	44	62	44	49	49	332
	比率								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
大変重い	63%	58%	57%	32%	34%	36%	45%	22%	40%
やや重い	25%	32%	24%	39%	39%	50%	43%	41%	38%
普通	13%	10%	19%	27%	26%	11%	6%	33%	19%
重くない	0%	0%	0%	2%	2%	2%	6%	4%	2%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問8.家賃負担についてどう感じていますか？

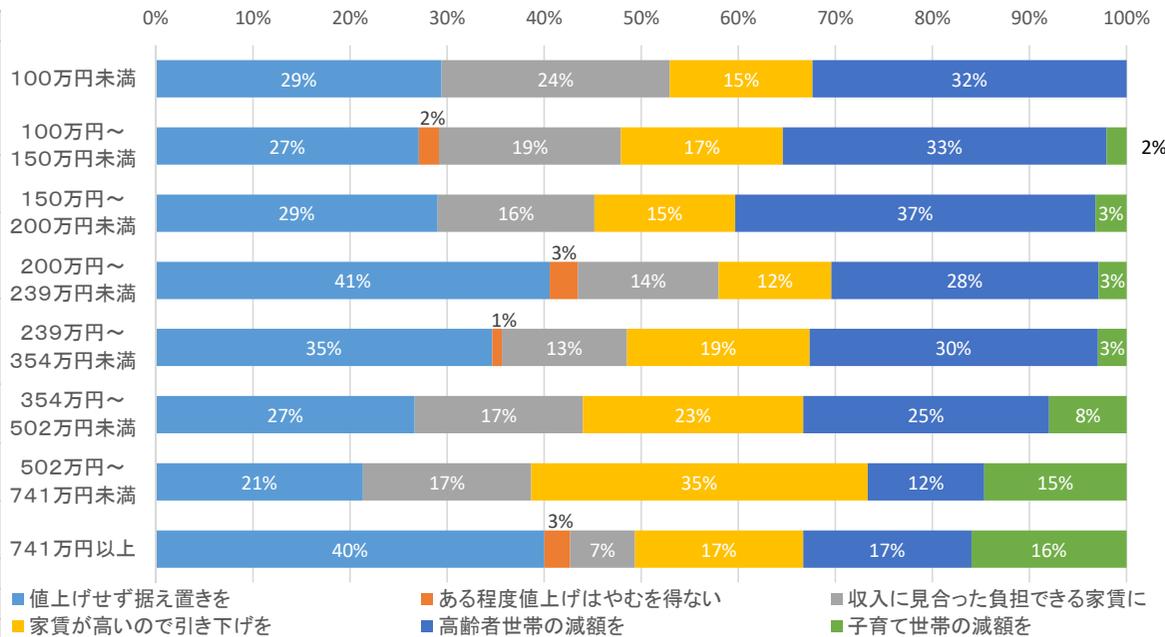


- 「大変重い」という回答が最も多かったのは、「100万円未満」、「100万円～150万円未満」、「150万円～200万円未満」、「502万円～741万円未満」の世帯
- 「やや重い」という回答が最も多かったのは、「200万円～239万円未満」、「239万円～354万円未満」、「354万円～502万円未満」、「741万円以上」の世帯
- 家賃負担が重いと感じている(すなわち「大変重い」と「やや重い」を合わせた回答)は全ての年収層において6割をこえる高い割合に達している
- 特に「100万円未満」、「100万円～150万円未満」、「354万円～502万円未満」、「502万円～741万円未満」の世帯では家賃負担が重いと感じている割合が約9割に達する高い比率になっている

問9.家賃についてどう思いますか？(〇はいくつでも可)

	度数								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
値上げせず据え置きを	10	13	18	28	35	20	16	30	170
ある程度値上げはやむを得ない		1		2	1			2	6
収入に見合った負担できる家賃に	8	9	10	10	13	13	13	5	81
家賃が高いので引き下げを	5	8	9	8	19	17	26	13	105
高齢者世帯の減額を	11	16	23	19	30	19	9	13	140
子育て世帯の減額を		1	2	2	3	6	11	12	37
総計	34	48	62	69	101	75	75	75	539
	比率								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
値上げせず据え置きを	29%	27%	29%	41%	35%	27%	21%	40%	32%
ある程度値上げはやむを得ない	0%	2%	0%	3%	1%	0%	0%	3%	1%
収入に見合った負担できる家賃に	24%	19%	16%	14%	13%	17%	17%	7%	15%
家賃が高いので引き下げを	15%	17%	15%	12%	19%	23%	35%	17%	19%
高齢者世帯の減額を	32%	33%	37%	28%	30%	25%	12%	17%	26%
子育て世帯の減額を	0%	2%	3%	3%	3%	8%	15%	16%	7%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問9.家賃についてどう思いますか？(〇はいくつでも)

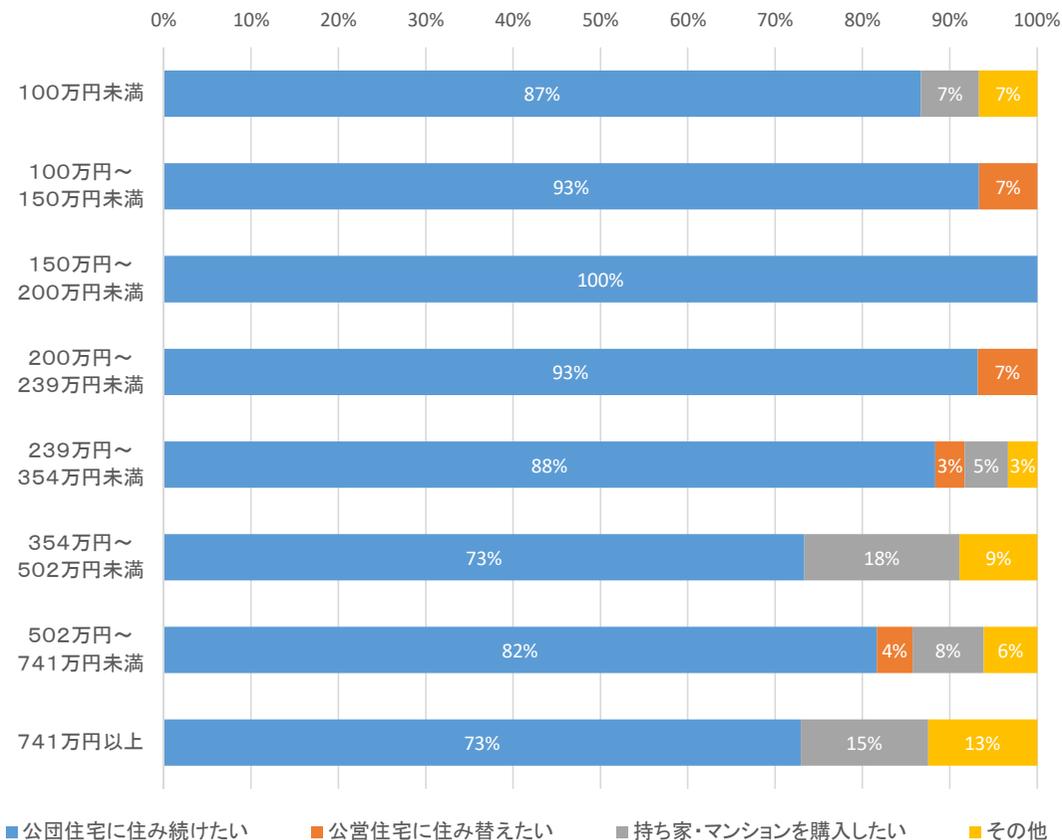


- 200万円未満の世帯では家賃について「高齢者世帯の減額」を望む意見が最も多い
- 200万円以上の世帯で「502万円～741万円未満」を除く世帯は家賃について「値上げせず据え置き」を望む意見が最も多い
- 「502万円～741万円未満」の世帯では「家賃が高いので引き下げを」望む意見が最も多く、その比率も26%と高い割合になっている

問10.今後の住まいの希望は？

	度数								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
公団住宅に住み続けたい	13	28	38	41	53	33	40	35	281
公営住宅に住み替えたい		2		3	2		2		9
持ち家・マンションを購入したい	1				3	8	4	7	23
その他	1				2	4	3	6	16
総計	15	30	38	44	60	45	49	48	329
	比率								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
公団住宅に住み続けたい	87%	93%	100%	93%	88%	73%	82%	73%	85%
公営住宅に住み替えたい	0%	7%	0%	7%	3%	0%	4%	0%	3%
持ち家・マンションを購入したい	7%	0%	0%	0%	5%	18%	8%	15%	7%
その他	7%	0%	0%	0%	3%	9%	6%	13%	5%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問10.今後の住まいの希望は？

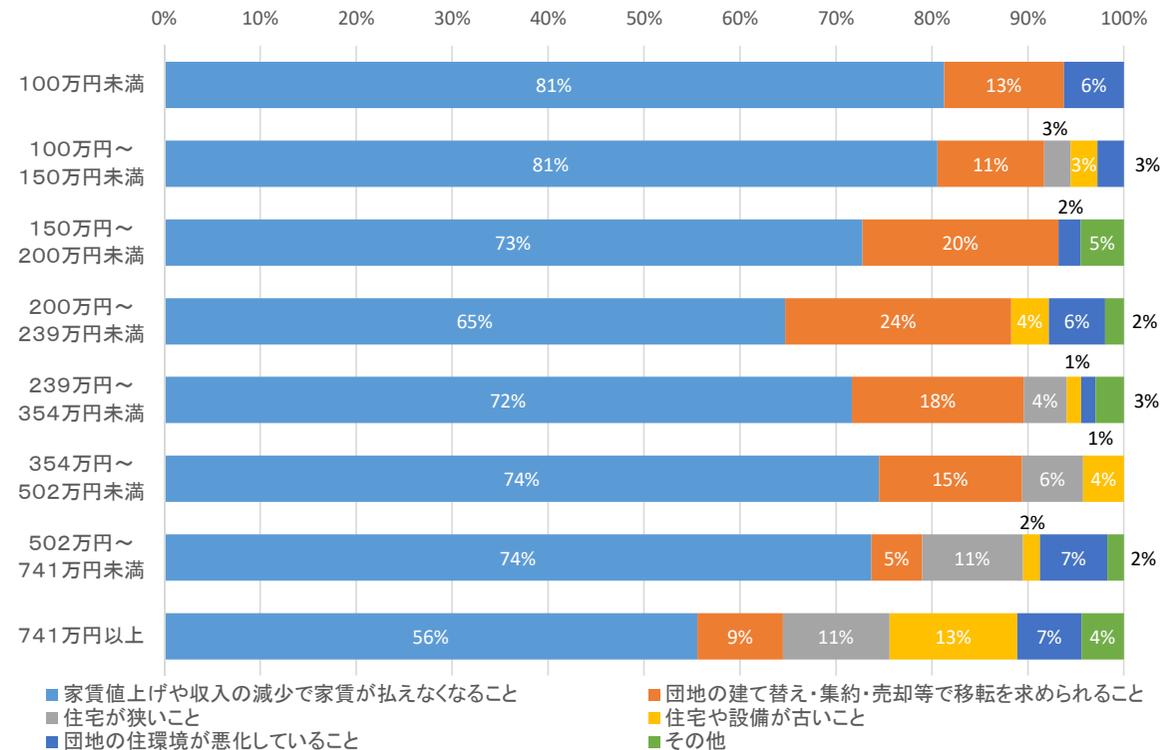


- 全ての年収層において「公団住宅に住み続けたい」という回答が最も多い
- 特に、世帯総年収が354万円を下回る世帯では「公団住宅に住み続けたい」と回答した割合は約9割と非常に高くなった
- 世帯総年収が354万円以上の世帯でも「公団住宅に住み続けたい」と回答した割合は7割と非常に高いが「354万円～502万円未満」と「741万円以上」では「持ち家・マンションを購入したい」という回答が他の年収層に比べてやや高めになっている
- 「502万円～741万円未満」は高年収世帯に当たるが「公営住宅に住み替えたい」という回答も4%ほど出ている

問11. 公団住宅に住んでいて不安・不満に思うことはどんなことですか？(〇はいくつでも可)

	度数								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること	13	29	32	33	48	35	42	25	257
団地の建て替え・集約・売却等で移転を求められること	2	4	9	12	12	7	3	4	53
住宅が狭いこと		1			3	3	6	5	18
住宅や設備が古いこと		1		2	1	2	1	6	13
団地の住環境が悪化していること	1	1	1	3	1		4	3	14
その他			2	1	2		1	2	8
総計	16	36	44	51	67	47	57	45	363
	比率								
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	総計
家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること	81%	81%	73%	65%	72%	74%	74%	56%	71%
団地の建て替え・集約・売却等で移転を求められること	13%	11%	20%	24%	18%	15%	5%	9%	15%
住宅が狭いこと	0%	3%	0%	0%	4%	6%	11%	11%	5%
住宅や設備が古いこと	0%	3%	0%	4%	1%	4%	2%	13%	4%
団地の住環境が悪化していること	6%	3%	2%	6%	1%	0%	7%	7%	4%
その他	0%	0%	5%	2%	3%	0%	2%	4%	2%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問11. 公団住宅に住んでいて不安・不満に思うことはどんなことですか？(〇はいくつでも可)

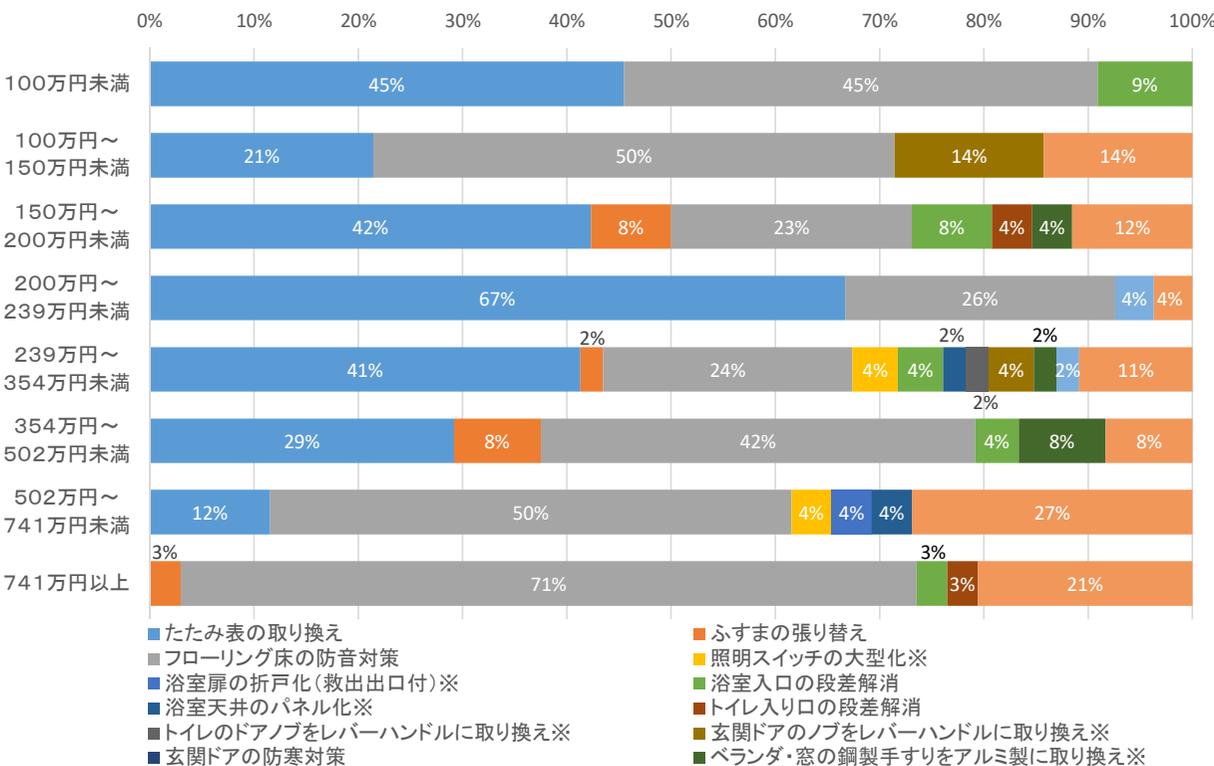


- すべての年収層において最も多い回答が「家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること」になっている
- 「741万円以上」の世帯でも56%もの世帯が「家賃値上げや収入の減少で家賃が払えなくなること」に不安を感じている

問12.住宅の修繕や居住性向上について、どのような要望がありますか？(〇はいくつでも可)

	度数								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
たたみ表の取り換え	5	3	11	18	19	7	3		66
ふすまの張り替え			2		1	2		1	6
フローリング床の防音対策	5	7	6	7	11	10	13	24	83
照明スイッチの大型化※					2		1		3
浴室扉の折戸化(救出出口付)※							1		1
浴室入口の段差解消	1		2		2	1		1	7
浴室天井のパネル化※					1		1		2
トイレ入り口の段差解消			1					1	2
トイレのドアノブをレバーハンドルに取り換え※					1				1
玄関ドアのノブをレバーハンドルに取り換え※		2			2				4
玄関ドアの防寒対策									
ベランダ・窓の鋼製手すりをアルミ製に取り換え※			1		1	2			4
浴室ステンレス窓をアルミサッシに取り換え※				1	1				2
その他		2	3	1	5	2	7	7	27
総計	11	14	26	27	46	24	26	34	208
	比率								総計
	100万円未満	100万円～150万円未満	150万円～200万円未満	200万円～239万円未満	239万円～354万円未満	354万円～502万円未満	502万円～741万円未満	741万円以上	
たたみ表の取り換え	45%	21%	42%	67%	41%	29%	12%	0%	32%
ふすまの張り替え	0%	0%	8%	0%	2%	8%	0%	3%	3%
フローリング床の防音対策	45%	50%	23%	26%	24%	42%	50%	71%	40%
照明スイッチの大型化※	0%	0%	0%	0%	4%	0%	4%	0%	1%
浴室扉の折戸化(救出出口付)※	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	0%	0%
浴室入口の段差解消	9%	0%	8%	0%	4%	4%	0%	3%	3%
浴室天井のパネル化※	0%	0%	0%	0%	2%	0%	4%	0%	1%
トイレ入り口の段差解消	0%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	3%	1%
トイレのドアノブをレバーハンドルに取り換え※	0%	0%	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%
玄関ドアのノブをレバーハンドルに取り換え※	0%	14%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	2%
玄関ドアの防寒対策	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ベランダ・窓の鋼製手すりをアルミ製に取り換え※	0%	0%	4%	0%	2%	8%	0%	0%	2%
浴室ステンレス窓をアルミサッシに取り換え※	0%	0%	0%	4%	2%	0%	0%	0%	1%
その他	0%	14%	12%	4%	11%	8%	27%	21%	13%
総計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

問12.住宅の修繕や居住性向上について、どのような要望がありますか？(〇はいくつでも可)



- 「100万円未満」、「150万円～200万円未満」、「200万円～239万円未満」、「239万円～354万円未満」の世帯では「たたみ表の取り換え」の希望が最も多い
- 「100万円未満」、「100万円～150万円未満」、「354万円～502万円未満」、「502万円～741万円未満」、「741万円以上」の世帯では「フローリング床の防音対策」の希望が最も多い